

令和6年度 第2回酒田市文化芸術推進審議会

◆日時：令和7年3月26日（水）午後2時～

◆会場：希望ホール 小ホール

1 委嘱状交付

2 開 会

3 市長あいさつ

4 会長及び副会長の選出

5 報 告

（1）文化芸術施策の概要について

資料1

（2）令和6年度評価指標（アンケート結果）について

資料2

6 協 議

（1）答申書に対する今後の方針について

資料3

（2）事業カード（令和6年度事業、令和7年度事業）について

資料4

7 その他

8 閉 会

酒田市文化芸術推進審議会委員名簿

氏 名	推薦団体等
中川 幾郎	帝塚山大学名誉教授
熊倉 純子	東京藝術大学大学院教授
市原 多朗	声楽家 酒田市名誉市民
村上 幸太郎	酒田市芸術文化協会会長 公益財団法人さかた文化財団理事長
田中 章夫	公益財団法人本間美術館館長
五十嵐 敏剛	酒田市小学校長会 酒田市立十坂小学校校長
長澤 信樹	酒田地区私立幼稚園・認定こども園連合会会長 学校法人明照学園理事長・浄徳幼稚園園長
加藤 聡	酒田商工会議所会頭 加藤総業（株）代表取締役社長
齋藤 健太郎	酒田市文化芸術プロジェクト会議委員 （株）ブルー代表取締役社長
武田 和恵	一般社団法人こねる代表理事

【事務局】

酒田市企画部文化政策課

文化政策調整監兼文化政策課長

金野 洋和

文化財主幹

川島 崇史

課長補佐兼管理係長

渡部 剛

文化芸術係長

東海林 聡

文化財係長

土田 和幸

No.	事務事業名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	担当課
		環境を整備を行う	親文化芸術に環境を整備	文化芸術活動における実	学校芸術活動における実	担い手の育成	支える人材の育成	市民との協働・共創	地域コミュニティとの連携	国際文化交流による	専門性の高い配置	社会包摂による	生涯学習との連携	多様な分野との連携	地域資源の活用	景観の保全と魅力	文化施設の活用	伝統的な食文化の継承と発信	観光との連携	産業との連携	組織体制の強化	
1	市民芸術祭開催		●		●		●															文化政策課
2	本間美術館活動補助金		●											●				●				文化政策課
3	土門拳管理運営事業	●	●													●						文化政策課
4	土門拳文化賞顕彰事業		●		●									●								文化政策課
5	【R5】土門拳伝記マンガ製作活用事業		●	●										●								文化政策課
6	美術館管理運営事業	●	●													●						文化政策課
7	庄内文化賞顕彰事業		●		●									●								文化政策課
8	各団体への補助等		●		●		●															文化政策課
9	スクールプログラム実施事業		●	●							●											文化政策課
10	【R5】市民アートコーディネート調査研究業務		●			●				●												文化政策課
11	芸術家・地域ふれあい事業		●	●						●												文化政策課
12	人材育成事業				●	●	●															文化政策課
13	いいいろいろ展		●								●		●									文化政策課
14	【R6新規】東京藝術大学との連携事業					●	●						●									文化政策課
15	鑑賞事業		●													●			●			文化政策課
16	【R6新規】アートプロジェクト活動支援補助金						●						●									文化政策課
17	文化資料館管理運営事業	●	●											●								文化政策課
18	史跡旧鎧屋修復事業	●	●											●								文化政策課
19	【R5】史跡旧鎧屋環境整備事業	●	●											●								文化政策課
20	文化財管理事業	●	●											●								文化政策課
21	文化財保存活動支援、国指定文化財管理補助		●			●								●								文化政策課
22	【R5廃止】光丘文庫管理事業	●	●											●								文化政策課
23	山居倉庫整備基本計画策定事業	●												●								文化政策課
24	山居倉庫整備事業	●												●	●							文化政策課
25	山居倉庫施設管理事業	●												●	●							文化政策課
26	生涯学習施設管理運営事業	●	●									●										社会教育課
27	幼児すてっぷ、親子ですくすく出前講座		●		●							●										社会教育課
28	酒田文化伝承シリーズ講座		●		●							●										社会教育課
29	酒田愛ごはん											●					●					社会教育課
30	マリーニジュニア合唱団の運営		●		●						●											社会教育課
31	地域人材交流講座			●	●		●															社会教育課
32	ミライニ管理運営事業		●										●					●				社会教育課
33	【R7新規】文化施設長寿命化事業	●	●													●						文化政策課
34	【R7新規】飛島ウミネコ繁殖地再生事業													●				●				文化政策課
小計		10	21	3	9	3	6	0	0	1	3	4	4	11	2	3	1	2	1	0	0	
参考 1	【R5】山居倉庫公有化事業													●	●	●						都市デザイン課
参考 2	景観形成重点地域の景観づくり						●							●	●							都市デザイン課
参考 3	客船受入事業								●									●	●			交流観光課
参考 4	各団体への負担金(北前船)												●	●				●				交流観光課
参考 5	観光戦略推進事業								●				●					●				交流観光課
参考 6	各団体負担金等(交流観光)								●									●	●			交流観光課
参考 7	鳥海山・飛島ジオパーク推進事業													●				●	●			交流観光課
参考 8	国際交流協会負担金、酒田地区日中友好協会負担金								●				●					●				共生社会課
参考 9	武蔵野市交流市町村協議会負担金												●					●				交流観光課
参考 10	客船誘致事業								●									●	●			商工港湾課
参考 11	市民交流推進事業						●		●				●									共生社会課
参考 12	八幡地域振興事業		●					●						●								八幡総合支所
参考 13	松山地域振興事業		●					●						●								平田総合支所
参考 14	平田地域振興事業		●					●						●								松山総合支所
参考 15	【R6廃止】演劇ワークショップ			●	●					●												学校教育課
参考 16	吹奏楽合同演奏会、中学校合唱コンクールに向けた各中学校への外部指導者招聘ほか			●	●																	学校教育課
【参考】小計		0	3	2	2	0	2	3	6	0	1	0	5	6	1	0	0	8	4	0	0	
令和6年度 合計		10	24	5	11	3	8	3	6	1	4	4	9	17	3	3	1	10	5	0	0	
令和5年度 合計		11	27	6	11	3	6	3	6	2	4	4	7	20	4	4	1	10	5	0	0	

※ 文化芸術推進計画の基本的施策で該当するもののうち、上位3つを選択したもの。 No.11～16の色付きの事業は『文化芸術推進プロジェクト会議』に含まれるもの。

評価指標の現状

基本目標	評価指標 (計画P32)	実 績							目標値
		H29年度 (計画策定時)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R9年度
市民文化政策 (ひとづくり) 自由で多様性を認める 心豊かな市民生活の実現	1.文化芸術活動※1のしやすいまちだと答える市民の割合 【計画P13 課題(1) 関連】	50.3%	50.9%	35.0%	36.7%	34.0%	37.3%	32.7%	60%
	2.文化芸術活動に参加した市民の割合 【計画P13 課題(1) 関連】	27.7%	29.3%	16.2%	26.9%	26.9%	41.2%	31.1%	33%
	3.文化芸術活動の満足度 【計画P16 課題(1) 関連】	42.1%	36.2%	25.2%	28.8%	21.8%	28.2%	31.1%	50%
	4.文化芸術活動を鑑賞した市民の割合 【計画P13 課題(2) 関連】	36.4%	43.8%	28.8%	30.8%	41.0%	60.7%	64.0%	43%
	5.子どもたちの文化芸術にふれる機会に対する満足度 【計画P17~19 課題(3)(6)関連】	31.2%	29.3%	20.7%	20.2%	18.2%	30.1%	36.4%	37%
都市文化政策 (まちづくり) 誇りをもてる 酒田らしさの創造	6.文化資源※2について誇りを もっている市民の割合 【計画P19 課題(4) 関連】	66.3%	58.4%	53.1%	53.7%	48.1%	93.9%	95.8%	79%
	7.多様な分野との連携事業数 【計画P19 課題(5) 関連】	教育関係1 観光関係1 商工関係1	福祉関係2 観光関係1	福祉関係1 教育関係1 観光関係1	福祉関係1 教育関係3 観光関係1	福祉関係1 観光関係2 教育関係1	福祉関係1 教育関係2	福祉関係1 教育関係5 商工関係1	多分野との連 携10事業
	8.文化施設※3に行ったことのある市民の割合 【計画P19 課題(4) 関連】	81.7%	62.2%	58.3%	67.1%	66.3%	91.1%	89.2%	90%
		市内6施設平均	市内4施設平均	市内4施設平均	市内4施設平均	市内5施設平均	市内5施設平均	市内5施設平均	

※1.文化芸術活動とは、希望ホールでのコンサート、美術館での鑑賞、文化芸術に関する講演会・ワークショップ、映画鑑賞、伝統芸能等に参加して活動すること。

※2.文化資源とは、文化施設（希望ホールなど）、文化財（山居倉庫など）、伝統芸能、酒田市出身の芸術家、自然景観、歴史的景観、酒田の食文化（R5変更）

※3.文化施設とは、市内4施設（土門拳記念館、酒田市美術館、本間美術館、酒田市民会館）、5施設（総合文化センター）、6施設（公民館）

注) 計画策定時(平成29年度)の数値については、「酒田市芸術文化振興計画(仮称)策定に伴うアンケート」(平成29年7月実施)の結果に基づくものであり、令和元年度以降の数値については、各年度に実施した市民アンケートの結果に基づくもの。

答 申 書（令和 6 年 9 月 2 5 日付）に対する今後の方向性

1 文化芸術分野における市民の自主的・自発的活動への支援事業について

令和 6 年度に新設された「アートプロジェクト活動支援補助金」は、市民の自由な発想と自発的な意思の掘り起こしを目的とし、市民の手によって文化芸術推進計画の基本的施策 20 項目及び重点的視点である社会包摂と育成の視点を取り入れた文化芸術活動が創造される画期的な事業である。今後も継続して実施することにより、市民による地域課題や市民のニーズに対応した文化芸術活動のすそ野が広がるように取り組むこと。

●アートプロジェクト活動支援補助金は、令和 7 年度も事業を継続して、文化芸術推進計画の推進につながる市民の自主的かつ主体的な文化芸術活動を支援します。

令和 7 年度は制度の周知に努め、応募団体の増加を図るとともに、応募状況に応じて、適宜見直しを行い、文化芸術活動のすそ野が広がるよう努めてまいります。

2. 文化芸術を享受する環境整備の拡充について

現在学校と連携し実施しているアウトリーチ事業により、多くの子どもたちに多様な文化芸術に親しむ機会の提供に努めていることは評価する。今後この取り組みを一層強化し、福祉分野など他の分野においても拡充を図るなど、市民が平等に文化芸術を享受する環境の整備に努めること。なお、その際に文化芸術団体との連携を図られたい。

●誰もが文化芸術に親しむことが出来る文化的環境の整備の一環として、文化芸術に接する機会の少ない子どもや障がい者、地域の住民が広く文化芸術にふれる機会を創出するため、アウトリーチ事業をはじめとする芸術家。地域ふれあい事業を継続します。

令和 6 年度は、市芸術文化協会のご協力をいただきながら、小学校等に派遣する芸術家のジャンルを増やしてまいりましたが、令和 7 年度は新たなジャンルとして書道をメニューに加え、より多様な文化芸術にふれる機会が創出できるよう努めてまいります。

3. 地方自治体における文化政策の意義と事業の取り組みについて

自治体の文化政策の意義は、歴史に対する思いや文化に誇りを持った市民層を増やし、定着、定住型の市民を増やしていくことである。郷土愛の醸成を図るためには、目に見えるものだけではなく、歴史的背景や想いを一体的に伝えることが重要である。市民が文化財や伝統芸能等の地域資源を理解し、保存や継承に関心を持つように取り組むこと。

また、まちの元気を創るためには、文化芸術に関わる人材の発掘と育成が重要であるが、より重要なのはその人材が社会と繋がることである。現在進めている市民アートコーディネーターの育成に向けた事業は、多様な価値観や表現方法に触れながら人や地域を繋いでいく事業である。自ら地域課題に取り組み、活動していく市民の小さな輪が広がることにより、活気あふれるまちとなることに期待する。

●本市には、古くから栄えた湊町として国指定史跡山居倉庫、旧燈屋などの文化財のほか、黒森歌舞伎や松山能などの伝統芸能など、豊富な地域資源を有しています。令和6年5月18日に開館した「文化資料館光丘文庫」を中心に、湊町さかたの文化、歴史により一層関心をもってもらえるような魅力的な企画展を開催し、郷土愛の情勢を図ってまいります。

【文化資料館光丘文庫の令和6年度企画展】

回数	内容	期間
第1回	日本の中の酒田 来訪者が見た湊さかたの情景	令和6年5月18日～7月21日
第2回	発掘された酒田市の遺跡	令和6年7月27日～10月20日
第3回	両羽博物図譜 松森胤保が描いた世界	令和6年10月26日～12月22日
第4回	冬の酒田の民俗文化Ⅰ 塞道の幕	令和7年1月4日～2月2日
第5回	冬の酒田の民俗文化Ⅱ 年中行事に見る黒森歌舞伎	令和7年2月8日～4月13日

●令和6年度は、市民アートコーディネーターの発掘・育成に向けて、東京藝術大学との連携のもと、アーティスト・イン・レジデンスを実施しました。既成概念に囚われない、斬新な表現のワークショップを重ねるなかで、文化芸術に関心があり、運営に参画したいという気持ちを持ち始めている参加者も現れています。令和7年度は市民アートコーディネーターの芽とも言えるこれらの人材を、段階的に企画・運営側に取り込む方法について検討してまいります。

1 市民芸術祭

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	市民芸術祭開催	担当 課	文化政策課
	予算事業名	文化振興総務管理事業		
事業概要		市民の文化芸術活動を広く公表する場として市民芸術祭及び開幕式典・公演を開催することで文化芸術に対する市民の興味関心の向上を図る。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☒ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☒ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☒ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市芸術文化協会（R6まで酒田市）
2 関係団体等	
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 酒田市芸術文化協会(補助金) R6まで委託料、R7から補助金に変更
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	市民芸術祭参加団体(個人含)	団体	24	30	27			
(2)	市民芸術祭入場者数	人	10,930	11,090	10,320			
(3)	開幕公演・式典参加者数	人	499	297	586			
(4)	開幕公演・式典時ワークショップ参加者数	人	－	242	323			
(5)								

1 市民芸術祭

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	・市民の文化芸術活動を広く公表する場として酒田市民芸術祭を開催することで、文化芸術に対する市民の興味関心の向上を図った。 ・開幕公演では育成をテーマとし、子ども向けのワークショップの開催や、子ども達と一緒にステージ発表を行うなど、幅広い年代が文化芸術に触れる機会を創出した。 ◆課題 ・期間や団体を限定せず、年間を通じ誰もが文化芸術に親しむことができる市民芸術祭とするため、内容の見直しを図っていく。 ・ワークショップに参加した子ども達が、文化芸術活動に対し継続して興味関心を持ってもらう工夫が必要。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・市民芸術祭や開幕式典・公演の内容(テーマ)について、酒田市芸術文化協会と協議しながら進め、多くの市民に親しまれる芸術祭を目指す。 ・子ども達が文化芸術活動を継続してできる環境づくりを芸術文化協会と協議を図っていく。	・市民の文化芸術活動を広く公表する場として酒田市民芸術祭を開催することで、文化芸術に対する市民の興味関心の向上を図った。 ・開幕公演では、こどもの発表と展示の場を設け、より育成に力を入れた公演となった。また、複数のジャンルが融合した演出を行うことで、分野を超えた交流が生まれた。 ◆課題 ・参加団体の高齢化が課題、若い世代が参加するためのきっかけ作りが必要。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・市民芸術祭第70回記念大会（令和8年）に向けて、芸術文化協会の事務局体制の強化と法人化の支援のため、開幕公演委託料（1,071千円）から補助金（1,781千円）に変更した。 ・市民芸術祭の主催を芸術文化協会に変更し、自由な発想で魅力ある開幕公演にするとともに、こどもや若者の発表の場となるよう支援する。	◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

1 市民芸術祭

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・第67回酒田市民芸術祭参加者の取りまとめ ・会場使用料の減免 ・広報、市HP、市LINE等市民への周知 ・酒田市民芸術祭の開催に先立ち開幕式典・公演の実施		・開幕式典・開幕公演（9/17実施） ・会場/総合文化センター ・テーマ「未来へのかけはし～未来へつなぐ～」 ・酒田市芸術文化協会に所属する団体・個人が市内各所において作品の展示やステージ発表等の文化芸術活動に取り組んだ。（9～2月） ・酒田市民会館の利用が9月～11月の週末に集中し、他団体の利用が困難な状況だったことから、R6年度の募集は利用日を限定し行った。	
	当初予算額	1,071 千円	決算	1,071 千円
令和6年度	主な経費	市民芸術祭開幕公演委託料1,071千円		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・第68回酒田市民芸術祭参加者の取りまとめ ・会場使用料の減免 ・広報、市HP、市LINE等市民への周知 ・酒田市民芸術祭の開催に先立ち開幕式典・公演の実施		・開幕式典・開幕公演（9/8実施） ・会場 希望ホール ・テーマ「伝えよう酒田の風景～四季の移ろいの中で～」 ・酒田市芸術文化協会に加盟する団体・個人が市内各所において作品の展示やステージ発表等の文化芸術活動に取り組んだ。（9～1月） ・前年度を踏まえ、酒田市民会館の利用希望が一時期に集中し、他団体の利用を妨げないよう、芸術文化祭と一般利用の振り分けを行った。	
令和7年度	当初予算額	1,071 千円	決算見込額	1,071 千円
	主な経費	市民芸術祭開幕公演委託料1,071千円		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
令和7年度	芸術文化協会の体制強化・法人化を支援することで、市民の自主的な文化芸術活動を更に推進する。 ・市民芸術祭開幕公演は、芸術文化協会に委託（1,071千円）していたものを、芸術文化協会の事務局体制強化のための補助金（1,781千円）に変更。 ・令和7年度から市民芸術祭の主催を、芸術文化協会に移管。 ・会場使用料の減免、広報等による周知は継続して実施。			
	当初予算額	1,781 千円	決算見込額	千円
	主な経費	文化芸術活動支援事業補助金1,781千円		

2本間美術館補助

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	本間美術館活動補助金	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化振興総務管理事業		
事業概要		重要文化財等を多数所蔵し、本市の観光拠点でもある本間美術館の運営の安定化と施設の維持管理を支援をすることで、貴重な文化財を散逸・荒廃させることなく後世に引き継ぎ、多彩な展示・教育普及活動の展開につなげていくもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☒ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	公益財団法人本間美術館
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 本間美術館(補助金)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6(2月時点)	R 7	R 8	R 9
(1)	入場者数	人	19,804	25,072	26,258			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

2本間美術館補助

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	・入館者数の増及び満足度の向上を図るため、文化庁補助事業も活用し、R3～R5にかけて施設整備やキャプションの多言語化、オリジナルグッズ開発など積極的に行った。 ・小中学生の入館料を無料とし、子どもたちへの鑑賞する機会の提供を行っている。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	・これまでの環境整備や観光分野との連携を活かし、入館者や売上の増を図るなど、経営を維持するための工夫や検討を依頼する。 ・本市の文化資源活用の普及を図るため、小中学生対象のスクールプログラムの実施の可能性を協議する。	・本間美術館の貴重な文化資源を継続的に保存活用していくため、引き続き支援を行っていく必要がある。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・引き続き、環境整備や観光分野との連携を活かし、入館者及び売上の増を図るなど、経営を維持するための検討をするよう依頼する。 ・本間美術館の近年の経営状況を踏まえ、必要な支援について改めて検討する。	◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

2本間美術館補助

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	本間美術館活動事業補助金 (対象経費:給料手当(事業に関わるものに限る)、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、修繕料、委託費、印刷製本費、水道光熱費、保険料、諸謝金及び支払手数料)		・常設展示事業、企画展示事業(7回) ・企画展時学芸員によるギャラリートーク ・体験、ワークショップ、公演の実施 ・広報活動 ・美術品収集保存 ・施設整備 ・喫茶運営、グッズ販売	
	当初予算額	3,637 千円	決算	3,637 千円
令和6年度	主な経費	本間美術館活動補助金		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	本間美術館運営に係る補助金 本間美術館活動事業補助金 (対象経費:給料手当(事業に関わるものに限る)、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、修繕料、委託費、印刷製本費、水道光熱費、保険料、諸謝金及び支払手数料)		・実績報告書提出後記載	
令和7年度	当初予算額	3,637 千円	決算見込額	3,637 千円
	主な経費	本間美術館活動事業補助金3,637千円		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
令和7年度	本間美術館運営に係る補助金 本間美術館活動事業補助金 (対象経費:給料手当(事業に関わるものに限る)、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、修繕料、委託費、印刷製本費、水道光熱費、保険料、諸謝金及び支払手数料)			
	当初予算額	3,637 千円	決算見込額	千円
	主な経費	本間美術館活動事業補助金3,637千円		

3土門拳記念館

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	土門拳記念館管理運営事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	～ R 5土門拳記念館管理運営事業 R 6～文化施設管理運営事業		
事業概要		土門拳氏の功績を記念した日本初の写真専門記念館の健全な運営を図り、写真を通じた文化芸術活動や鑑賞の機会の創出、及び郷土愛を醸成するもの。 【昭和58年開館】土門拳作品約13万5千点を所蔵		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- ☒ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☒ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	公益財団法人さかた文化財団（指定管理者）
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 公益財団法人さかた文化財団(委託/指定管理)
4 主な受益者	1.全ての市民（特に力を入れている対象がある場合：） 2.対象が限定の場合 子ども～18歳（ 3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生 ） 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他（ ）

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6 (2月時点)	R 7	R 8	R 9
(1)	入館者数	人	19,091	22,290	20,961			
(2)	企画展開催回数	回	5	5	4			
(3)								
(4)								
(5)								

3土門拳記念館

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	・施設運営についても不備なく対応している。 ・イベント情報や雑誌・ＴＶの特集内容など、リアルタイムで情報発信し、興味関心を持つきっかけづくりに努めている。 ・写真と他分野と融合した事業を実施し、作品のみならず土門拳記念館全体の魅力をアピールし多様な分野との連携に努めている。
		◆課題 ・施設の老朽化(Ｒ5年度40周年)による修繕が頻繁している。休館も視野に入れた大規模改修が必要。 ・劣化していく作品(ネガ含)の保護と保管方法。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・大規模改修に向け、Ｒ6年度は改修箇所を確定するための建物劣化調査を実施する。 ・現在実施している原板のビネガーシンドローム対策に加え、スキャンが可能な今のうちにデジタル化(原板スキャン、データ化、台帳整理)をＲ6年度から5年をめどに集中的に進めていく。	・来館者の利便性を向上するため、館内のwi-fi環境の整備を行った。 ・建物劣化調査を実施したところ、施設の改修に莫大な費用を要することが判明した。
		◆課題 ・大規模改修を含めた施設の在り方について検討が必要。 ・デジタル化した後のネガの原版の取り扱いについて協議していく必要がある。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・大規模改修見費用見込み額を踏まえ、今後の方向性を定める。 ・施設の在り方やネガの原版の取り扱いについて、酒田市・さかた文化財団・土門拳写真研究所などの関係者を交えた協議を進めていく。	
		◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

3土門拳記念館

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	土門拳記念館の管理運営(指定管理R3～R5) ・土門拳作品展示事業6（特別展示、企画展示） ・写真文化普及啓発事業 ・写真作品等保存管理事業 ・教育普及事業 ・土門拳記念館 P R 及び広域情報提供事業 ・調査研究事業 ・施設管理運営事業 収蔵品(土門拳撮影フィルム)ビネガーシンドローム対策		主な普及推進事業 ・ギャラリートーク ・こども写真教室4/29 ・親子ワークショップ7/23 ・写真展「わたしのこの一枚」11/22～12/3 ・ミュージアムコンサート 8/19(ナイトミュージアム、二胡とピアノ)、 10/22(被爆ピアノ)、 11/4(ハンマーダルシマー) ・フラワーアート i n 土門拳記念館10/13-20 収蔵品(土門拳撮影フィルム)ビネガーシンドローム対策	
	当初予算額	48,345 千円	決算	55,134 千円
令和6年度	主な経費	施設修繕料、土門拳記念館施設管理委託料 ※12月補正275千円(修繕料)、3月補正4,501千円(委託料)		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・土門拳記念館の管理運営(指定管理R6～R10) ・収蔵品(土門拳撮影フィルム)ビネガーシンドローム対策 ・大規模改修に向けた建物劣化調査業務委託料 ・Wi-Fi環境の整備 ・施設修繕		・土門拳記念館の管理運営(指定管理R6～R10) ・収蔵品(土門拳撮影フィルム)ビネガーシンドローム対策 ・大規模改修に向けた建物劣化調査業務委託料 ・Wi-Fi環境の整備 ・施設修繕（チラー部分修繕、滝流れポンプ修繕、収蔵庫空調機器修繕）	
令和7年度	当初予算額	69,058 千円	決算見込額	68,058 千円
	主な経費	施設修繕料、土門拳記念館施設管理委託料ほか		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・土門拳記念館の管理運営(指定管理R6～R10) ・収蔵品(土門拳撮影フィルム)ビネガーシンドローム対策 ・施設修繕			
令和7年度	当初予算額	63,788 千円	決算見込額	千円
	主な経費	土門拳記念館施設管理委託料60,285千円、作品管理保存業務委託料3,283千円、施設修繕料3,000千円（美術館と共通）		

4土門拳文化賞

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	土門拳文化賞顕彰事業	担 当 課	文化政策課
	予算事業名	土門拳文化賞顕彰事業		
事業概要		土門拳氏の功績をたたえ、国内アマチュア写真家を対象に土門拳氏が生涯追求したドキュメント性、メッセージ性の精神を受け継ぐ組み写真(30組)の公募、顕彰及び作品展を開催することにより、写真文化・写真芸術の振興及び郷土愛の醸成を図るもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☒ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☒ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	公益財団法人さかた文化財団
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 公益財団法人さかた文化財団(委託)、土門拳文化賞選考委員会(謝金)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 (全国のアマチュア写真家)

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	受賞作品展入館者数(土門拳記念館)	人	3,061	3,544	1,973			
(2)	作品応募者数	人	106	102	108			
(3)								
(4)								
(5)								

4土門拳文化賞

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	土門拳文化賞を友の会等関係者と連携し発信することにより、故人の功績や土門拳記念館の魅力を全国に向け発信している。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	賞金の必要性について、関係団体であるさかた文化財団や土門拳文化賞選考委員会などと協議する。	賞金については類似の賞に合わせ50万円としているが、今後の必要性について検討が必要。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	選考委員の意向も踏まえ、また、将来の文化賞のあり方を含め検討していく必要がある。	副賞500千円は、関係者の意見を踏まえ、庁内協議を行い継続することとしたが、受賞者の旅費の支給については、令和7年度から廃止することとした。
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
		応募作員数は安定して推移しているが、選考委員の長期化と高齢化が課題となっている。
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

4土門拳文化賞

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	第29回酒田市土門拳文化賞業務 ・選考会 令和5年6月9日 (土門拳文化賞1点、奨励賞3点) ・受賞者及び受賞作品発表 8月定例記者会見 ・授賞式の開催 令和5年10月1日(場所/土門拳記念館) ・作品展の開催(場所/土門拳記念館、東京、大阪) 第30回酒田市土門拳文化賞作品募集業務		応募者数102人 ・選考会 6/9 ・授賞式 10/1 ・受賞作品展開催 土門拳記念館9/16～10/23 東京展11/7～11/20ニコンプラザ東京 大阪展11/30～12/13ニコンプラザ大阪	
	当初予算額	1,676 千円	決算	1,539 千円
	主な経費	公募及び選考業務委託料(土門拳記念館管理運営事業)、楯制作委託料、賞賜金等		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	第30回酒田市土門拳文化賞業務 ・選考会 令和6年6月7日 (土門拳文化賞1点、奨励賞3点程度) ・受賞者及び受賞作品発表 8月定例記者会見 ・授賞式 令和6年9月7日(場所/土門拳記念館) ・作品展の開催(場所/土門拳記念館、東京、大阪) 第31回酒田市土門拳文化賞作品募集業務		第30回酒田市土門拳文化賞業務 ・選考会 令和6年6月7日 (土門拳文化賞1点、奨励賞3点を選考) 応募者数108人、117テーマ ・授賞式 令和6年9月7日(場所/土門拳記念館) ・作品展の開催(場所/土門拳記念館、東京、大阪)	
	当初予算額	3,919 千円	決算見込額	3,716 千円
	主な経費	公募及び選考業務委託料2,215千円、楯制作委託料、賞賜金等		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	第31回酒田市土門拳文化賞業務 ・応募期間 令和7年5月16日まで ・選考会 令和7年6月6日 (土門拳文化賞1点、奨励賞3点程度) ・受賞者及び受賞作品発表 8月定例記者会見 ・授賞式 令和7年9月27日(場所/土門拳記念館) ・作品展の開催(場所/土門拳記念館、東京、大阪)			
	当初予算額	3,626 千円	決算見込額	千円
	主な経費	公募及び選考業務委託料2,239千円、賞牌制作委託料600千円、賞賜金514千円ほか		

6美術館管理

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	美術館管理事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	～ R 5美術館管理事業 R 6～文化施設管理運営事業		
事業概要		市民に身近な美術館を運営することにより、美術館を通した文化芸術活動の場と芸術鑑賞の機会の創出を図るもの。 【平成9年開館】		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- ☒ ①文化芸術活動を行う環境の整備
☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
☐ ⑧文化芸術による国際交流
☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
☒ ⑮文化施設の活用
☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
☐ ⑰観光との連携
☐ ⑱産業との連携
☐ ⑲組織体制の強化
☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	公益財団法人さかた文化財団
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 公益財団法人さかた文化財団(委託/指定管理)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6 (2月時点)	R 7	R 8	R 9
(1)	入館者数	人	35,392	41,997	47,151			
(2)	企画展開催回数	回	6	6	6			
(3)								
(4)								
(5)								

6美術館管理

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	・施設運営についても不備なく対応している。 ・イベント情報や雑誌・ＴＶの特集内容など、リアルタイムで情報発信し、興味関心を持つきっかけづくりに努めている。 ・企画展ごとにアンケート調査やＳＮＳによる投稿から市民のニーズや関心のある分野等を把握分析し、運営に反映させている。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	大規模改修に向け、Ｒ6年度は改修箇所を確定するための建物劣化調査業務を実施する。	・施設の老朽化(Ｒ9年度30周年)による修繕が頻繁している。休館も視野に入れた大規模改修が必要。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・工事にあたり、設計受託者、美術館、市建築課との調整会議（仮）を設置し、確実な工事の進捗を図る。	・建物劣化調査を実施して、令和7年度に設計、令和8年度から大規模改修を行う計画である。
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
		・大規模改修の実施にあたって、長期休館の対応、美術品の保管場所・方法の検討、仮設事務所の設置など適切な予算確保
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

6 美術館管理

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	酒田市美術館の管理運営(指定管理R3～R5) ・展示事業6（特別展示、一般展示） ・美術品保存管理事業 ・教育普及事業 ・酒田市美術館PR及び広域情報提供事業 ・調査研究業務 ・施設管理運営事業 美術館周辺の松くい虫被害木処理 高橋剛作ブロンズ像メンテナンス(屋外設置3体)		主な普及事業 ・ワークショップ ・子ども絵画展 ・インターンシップ、博物館学芸員実習受入 美術館周辺の松くい虫被害木処理 高橋剛作ブロンズ像メンテナンス(屋外設置3体)	
	当初予算額	104,345 千円	決算	107,580 千円
	主な経費	施設修繕料、美術館施設管理委託料、ブロンズ像維持管理業務委託料		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・酒田市美術館の管理運営(指定管理R6～R10) ・大規模改修に向けた建物劣化調査業務委託料 ・施設修繕		・酒田市美術館の管理運営(指定管理R6～R10) ・大規模改修に向けた建物劣化調査業務委託料 ・施設修繕（消火ポンプ修繕、屋上漏水修繕、玄関ドアヒンジ修繕、給排水ポンプ修繕ほか）	
	当初予算額	113,919 千円	決算見込額	113,820 千円
	主な経費	施設修繕料、市美術館施設管理委託料等		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	酒田市美術館の管理運営(指定管理R6～R10) ・展示事業6（特別展示、一般展示） ・美術品保存管理事業 ・教育普及事業 ・酒田市美術館PR及び広域情報提供事業 ・調査研究業務 ・施設管理運営事業			
	当初予算額	109,194 千円	決算見込額	千円
	主な経費	市美術館施設管理委託料109,194千円、施設修繕料3,000千円（土門拳記念館と共通）		

7庄内文化賞

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	庄内文化賞・阿部次郎文化賞顕彰事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	庄内文化賞・阿部次郎文化賞顕彰事業		
事業概要		庄内地方の文化及び芸術の振興に寄与するため、芸術学術分野または阿部次郎研究において、顕著な業績を収めた団体・個人を顕彰する。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☒ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☒ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	庄内文化賞選考会
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 庄内文化賞選考会(報酬)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	庄内文化賞受賞者数	団体・人	1	1	1			
(2)	阿部次郎文化賞受賞者数	団体・人	0	0	－			
(3)								
(4)								
(5)								

7庄内文化賞

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	庄内文化賞について、芸術、学術等の分野で優れた業績のあった者に対し顕彰し、庄内地方の芸術文化振興と郷土愛の醸成に寄与した。 ◆課題 ・阿部次郎については4年連続推薦がない状況が続いており、今後のあり方について検討が必要。 ・賞金10万円の必要性について検討が必要。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・賞金の必要性について、庄内文化賞選考会や市財政課と協議を行っていく。 ・阿部次郎文化賞について、今後のあり方を選考会、地元松山の関係者、東北大学等の意見を丁寧に聞きながら検討していく。	・阿部次郎文化賞の受賞要件である阿部次郎研究について、現状を東北大学からお伺いしたところ、今後推薦者が増える見込みはないと判断し、阿部次郎文化賞を庄内文化賞に統合した。賞金は庁内協議の結果、継続することとした。 ◆課題 庄内地域の行政・文化芸術団体等に依頼している推薦の数が減少傾向にあるため、依頼範囲の見直しを検討する必要がある。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・庄内文化賞の推薦を依頼する範囲を見直し、庄内地方のより多くの機関から賞に値する人物を推薦していただく。 ・阿部次郎文化賞との統合により、庄内文化賞の性質や目的が変わることを関係機関へ周知する。	 ◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		 ◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		 ◆課題

7庄内文化賞

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・第45回庄内文化賞及び第40回阿部次郎文化賞、以下の事業を実施 ・募集の実施 ・選考会の実施 ・授賞式の実施 【特定財源】教育振興基金繰入金603千円		・募集案内 6/22-7/18 ・応募 庄内文化賞/2団体より推薦有り（同一人物） ・選考会 8/17 ・顕彰式 11/2 ・庄内文化賞記念楯、副賞10万円	
	当初予算額	603 千円	決算	227 千円
令和6年度	主な経費	賞賜金、楯制作委託料等		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・第46回庄内文化賞及び第41回阿部次郎文化賞、以下の事業を実施 ・募集の実施 ・選考会の実施 ・授賞式の実施 【特定財源】教育振興基金繰入金586千円		第46回庄内文化賞 ・応募（推薦）期間 6/20～7/23 1 団体から推薦あり ・選考委員（6名）による選考会 8/8 ・酒田市顕彰式 11/1 阿部次郎文化賞は、近年推薦者がいない状況が続いたことから、令和6年度は休止とし、阿部次郎研究の現状をお伺いするため、5/28に東北大学を訪学。 今後、研究者が増える見込みはないことから、阿部次郎文化賞を庄内文化賞に統合した。	
令和7年度	当初予算額	586 千円	決算見込額	185 千円
	主な経費	賞賜金、楯制作委託料等		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
令和7年度	第47回庄内文化賞の顕彰のため、以下の手順を実施。 ①関係機関（庄内地域の行政、芸文協、文化施設、公益大など11機関）に推薦依頼。 ②選考委員会の開催 ③授賞式（市民表彰と合同）の開催 記念楯、副賞10万円を贈呈			
	当初予算額	181 千円	決算見込額	千円
	主な経費	賞賜金、報償金（選考委員）等		

8各団体補助等

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	各団体への補助等	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化振興総務管理事業		
事業概要		市の芸術文化振興に貢献する文化芸術団体に対し、その安定した運営とより充実した市民への芸術鑑賞の機会提供のため補助を行うもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☒ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☒ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田吹奏楽団、酒田フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽協会
2 関係団体等	酒田市、山形県
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 酒田吹奏楽団(補助金)、酒田フィルハーモニー管弦楽団(補助金)、山形交響楽協会(負担金)、山形交響楽団庄内定期演奏会酒田公演(負担金※全額県補助対象)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

8各団体補助等

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	・各団体は、市内外で数多くの演奏や公演を実施し、中高生への演奏指導やチャリティコンサート、地域行事への出演も積極的に行うなど、地域住民に気軽に音楽に触れる機会を提供している。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	・各団体の事業内容(本市の文化芸術推進への貢献度等)や団体の運営状況等を積極的に把握し、適正な補助金交付を行う。	・各団体の文化芸術活動の推進と、地域に対し積極的に文化芸術と親しむ機会を創出する活動に対し、各団体の活動状況だけではなく運営状況についても把握する必要がある。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・各団体の運営状況や事業体制を再確認し、適正な補助金の交付を行う。	・各団体は、市内外で数多くの演奏会や公演会を実施し、上質な音楽に触れる機会を提供することで、本市の音楽芸術の普及に寄与している。
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価

8各団体補助等

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	団体の運営に係る補助金、負担金 ・酒田吹奏楽団、酒田フィルハーモニー管弦楽団/教育支援活動、社会福祉活動、公益活動への取り組みを実施。 ・山形交響楽団庄内定期演奏会第28回酒田公演/県内唯一のプロオーケストラにより市民に上質な音楽鑑賞の機会を提供 ・山形交響楽協会/県内市町村負担割合に応じ負担金を支出		・酒田吹奏楽団/地域のイベントでの演奏や社会福祉活動（福祉施設への訪問演奏等）、教育支援活動として中高生への演奏指導を実施（12校へ計53回）。また、各種コンクールや演奏会へも多数出演。 ・酒田フィルハーモニー管弦楽団/各種演奏会への出演のほか、主催の定期演奏会やファミリーコンサートを開催。演奏会へ障がい者を招待する取り組みを行っている（定期演奏会40人、ファミリーコンサート6人 招待）。 ・山形交響楽団庄内定期演奏会第28回酒田公演/プロオーケストラによる上質な音楽鑑賞の機会を提供。希望ホールを会場に開催し、884人が来場。 ・山形交響楽協会/県内市町村負担割合に応じ負担金を支出（801千円）	
	当初予算額	1,505 千円	決算	1,575 千円
	主な経費	団体の運営に係る補助金、負担金 ※12月補正（負担金）		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	団体の運営に係る補助金、負担金 ・酒田吹奏楽団、酒田フィルハーモニー管弦楽団/教育支援活動、社会福祉活動、公益活動への取り組みを実施。 ・山形交響楽団庄内定期演奏会第29回酒田公演/県内唯一のプロオーケストラにより市民に上質な音楽鑑賞の機会を提供 ・山形交響楽協会/県内市町村負担割合に応じ負担金を支出		・実績報告書提出後記載	
	当初予算額	1,575 千円	決算見込額	1,575 千円
	主な経費	山県交響楽団庄内定期演奏会酒田公演負担金（630千円）		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	団体の運営に係る補助金、負担金 ・酒田吹奏楽団、酒田フィルハーモニー管弦楽団 教育支援活動、社会福祉活動、公益活動への取り組みを実施。 ・山形交響楽団庄内定期演奏会第30回酒田公演 県内唯一のプロオーケストラにより市民に上質な音楽鑑賞の機会を提供 ・山形交響楽協会 県内市町村負担割合に応じ負担金を支出			
	当初予算額	1,575 千円	決算見込額	千円
	主な経費	山形交響楽協会市町村負担金（801千円）、山形交響楽団庄内定期演奏会酒田公演負担金（630千円）、文化芸術活動支援事業補助金（144千円）		

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	スクールプログラム実施事業	担 当 課	文化政策課
	予算事業名	スクールプログラム実施事業（～R5） 文化芸術推進事業（R6～）		
事業概要		子どもたちに授業の一環として一度は酒田市美術館及び土門拳記念館において本物と触れ合う機会を与え、学芸員との対話型鑑賞をすることにより多様性を感じ自己肯定感を高めるなど、多様な社会の価値に対する柔軟な考え方や物の見方を育むと同時に郷土愛の醸成につなげるもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☒ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☒ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	公益財団法人さかた文化財団、石の会(教職員退職者の会)
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 公益財団法人さかた文化財団(協働)、NPO法人まちづくりnet松山(協働)、石の会(報酬)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	参加校数 (延べ)	校	24	20	19			
(2)	参加者数	人	1,195	982	587			
(3)	実施回数	回	40	38	24			
(4)								
(5)								

9スクプロ

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	市美術館や土門拳記念館で本物に触れる機会を創出することにより郷土愛の育成につながった。 ◆課題 ・土門拳記念館(少ない)と酒田市美術館(多い)の実施割合に偏りがある。 ・学芸員の負担が大きい。 ・石の会(協力団体)の高齢化。 ・より多くの児童に届けるため、土門拳記念館、酒田市美術館以外の実施場所の検討も必要。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議） ・土門拳記念館では、R5年度に制作した偉人マンガをプログラムに活用する内容とし、写真文化や郷土愛の醸成につなげていく。 ・現在の2館に加え、本間美術館等の文化施設でも実施できないか協議を図る。	◆評価 市美術館や土門拳記念館で“本物”に触れる機会を創出することにより、多様性を認める心豊かな子どもたちの育成につながった。土門拳記念館では偉人マンガを活用して実施した。 ◆課題 土門拳記念館及び市美術館以外の実施場所について、本間美術館は受け入れ不可能だったため、他施設での受け入れを検討する。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議） ・現在の2館に加え、松山文化伝承館でも実施できないか協議を図る。 ・美術館についてはこれまで午前2コマでの受け入れだったが、より実施しやすいよう受け入れ枠を工夫する。	◆評価 ◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価 ◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価 ◆課題

9スクプロ

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	酒田市美術館 ・対象/小中学生 土門拳記念館 ・対象/小中学生 ・R5年度より、ボードゲーム「じっくりミレー」を取り入れ実施		・実施期間R5.7/13～R6.3/7 ・酒田市美術館実績 参加校数16校、参加者数895人、実施回数34回 ・土門拳記念館実績 参加校数4校、参加者数87人、実施回数4回	
	当初予算額	319 千円	決算	319 千円
	主な経費	報償金、費用弁償		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	酒田市美術館 ・対象/小中学生 土門拳記念館 ・対象/小中学生 ・ボードゲーム「じっくりミレー」及び偉人マンガ「鬼の眼 土門拳」を取り入れ実施		・酒田市美術館実績 実施期間R6.9/26～R7.2/19 参加校数14校、参加者数357人、実施回数15回 ・土門拳記念館実績 実施期間R6.5/23～R7.1/31 参加校数5校、参加者数230人、実施回数9回	
	当初予算額	330 千円	決算見込額	66 千円
	主な経費	報償費、費用弁償		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・市内小中学校、特別支援学校を対象に、学校の授業に美術館などの作品鑑賞を取り入れることで、文化芸術に触れる機会の充実や多様性を認める人間性の育成を図る。 実施施設：酒田市美術館、土門拳記念館、松山文化伝承館			
	当初予算額	330 千円	決算見込額	千円
	主な経費	報償金178千円、費用弁償152千円		

11地域ふれあい

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	芸術家・地域ふれあい事業（文化芸術推進プロジェクト会議）	担当 課	文化政策課
	予算事業名	文化芸術推進事業		
事業概要		芸術家を招聘し、酒田に一定期間滞在する中でアウトリーチをはじめとした活動を行うもの 文化芸術に触れる機会の創出を目的としている		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☒ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☒ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	市内小学校、県立酒田特別支援学校
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 市内小学校、県立酒田特別支援学校、希望ホールレセプションリスト
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：子ども、障がい児) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	学校派遣型事業（アウトリーチ） ※～R5は実施コマ数、R6～は実施校数	回/校	40	35	21	22		
(2)	ワークショップ（インリーチ）	回	9	5	-	-		
(3)	地域コンサート（アウトリーチ） ※～R5は実施回数、R6～は来場者数	回/人	4	4	365	350		
(4)	リサイクル・公演（インリーチ）	回	5	5	-	2		
(5)								

11地域ふれあい

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	・普段、希望ホールで鑑賞する機会の少ないと思われる子ども、障がい児、未就学児、周辺地域住民に文化芸術を届ける機会を創出した ・特に小学校等でのアウトリーチに関しては全21校で実施し、教員、児童からのアンケート結果が好評であり、学校教育における文化芸術活動の充実に寄与した
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	・小学校アウトリーチについてはニーズ調査を行い、多彩なジャンルのメニューを揃えて希望するものを学校側が選択できるようにする ・招聘する芸術家について、地元、あるいは縁のある方々を中心に検討する ・鑑賞しやすい会場の設定や興味を引く内容にするなど、より多くの市民の鑑賞の機会を図る	・ダンス、狂言など新しいジャンルのメニューは学校側の好評を得られ、子どもたちがこれまでにない文化芸術に触れる機会となった ・地元縁のある方を中心にしたアーティスト選定により子ども
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・地域コンサートの主旨の周知不足については、チラシ等の告知の段階から、誰もが気軽に鑑賞機会を得るための公演である旨を明文化して周知を図る	◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

11地域ふれあい

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	国内を代表する下記アーティストが酒田に滞在しての小学校等へのアウトリーチ、アナリーゼワークショップ、地域ワンコインコンサート、希望ホール公演を行う ・喜納雅（チューバ） ・ドゥオール（ピアノデュオ） ・塚越慎子（マリンバ） ・磯絵里子（ヴァイオリン） ・椿三重奏団（ピアノ・ヴァイオリン・チェロ）		・アウトリーチ事業：22校 35コマ 782人参加 ・アナリーゼワークショップ：5回 167人参加 ・地域ワンコインコンサート：4回 586人参加 ・希望ホール公演：5回 1,202人	
	当初予算額	14,188 千円	決算	12,562 千円
	主な経費	公演料、費用弁償、宣伝印刷費		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	地元芸術家、又は縁のある芸術家を招聘し、下記の多彩なジャンルによる小学校等へのアウトリーチ、地域コンサートを行う ・ヴィタリ・ユシュマノフ（声楽）：地域コンサートあり ・小林真人（ピアノ・作曲）：地域コンサートあり ・菊池将晃（ダンス） ・庄内能楽館（能・狂言） ・酒田三曲協会（邦楽）		・アウトリーチ事業：21校 27コマ 916人参加 ・地域ワンコインコンサート：2回 365人参加	
	当初予算額	7,705 千円	決算見込額	4,585 千円
	主な経費	公演料、費用弁償		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	本市に縁のある芸術家を招聘し、下記の多彩なジャンルによる小学校等へのアウトリーチ、地域コンサート、また新規に希望ホールで乳幼児向けコンサートを行う ・奥田なな子（チェロ）：地域コンサートあり ・小林真人（ピアノ・作曲）：地域コンサート、乳幼児向けコンサートあり ・菊池将晃（ダンス） ・中村修一（狂言）：調整中 ・点（書道） 声楽家・戸山俊樹氏による小ホールコンサート			
	当初予算額	6,321 千円	決算見込額	千円
	主な経費	公演料、費用弁償ほか		

12人材育成事業

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	人材育成事業（文化芸術推進プロジェクト会議）	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化芸術推進事業		
事業概要		主に市民を対象に、創造・表現活動の担い手や、その活動・公演等を支える人材など、広く文化芸術活動に携わる人材の育成を行う		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☒ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☒ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☒ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	希望ホールレセプションист、ミライニ、学校等
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) レセプションист研修講師、ミライニ
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	レセプションист養成講座 ※～R5は実施回数、R6～は参加人数	回/人	11	4	22	20		
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

12人材育成事業

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	・一流のピアニストによるレッスン事業、プロの演出家による演劇ワークショップ、レセプション養成講座及び公演対応といったバラエティあるラインナップで人材育成に寄与した ◆課題 ・レセプション募集に関しては特にターゲットとなりえる層への周知が足りず応募者が少なかった ・ピアノレッスンは県外も含めた関係施設や、市内ピアノ教室などに周知したが参加者の確保に苦慮したため、その結果からニーズそのものが高くなかった可能性が考えられる
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・レセプションの募集に関しては、ダブルワークなどの仕事を切り口とした告知方法から、文化芸術業界に興味のある方へ訴求する周知方法に軌道修正する ・ゼロから参加者を募集する研修だけでなく、ある程度ターゲットを定めた人材育成の取組についても検討する ・ミライと連携し中学生、高校生等による文化芸術活動を支援する	・周知方法の変更が奏功して20名を超える市民からレセプションの応募があり、人材育成に寄与した ・新規で幼保児童を対象にした見学体験インリーチを実施し、子どもたちが希望ホールに親しむ機会を創出した ◆課題 ・前年まで実施していた高校生向け演劇ワークショップについては、受益者が限定的であると同時に事業成果がわかりにくいため休止したが、高校側からは実施を要望されている
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・高校生演劇ワークショップを以下の建付けで実施する ①研修最終日に成果として演劇公演を行い市民に還元する ②公演のテーマを社会課題の一つであるジェンダー問題とし、庁内他課事業と連携、演劇公演のほかに男女共同参画に関する講演会や、講師と高校生とのトークセッションなどを組み合わせ、新しい価値観の会合場として広く市民を集客する	◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

12人材育成事業

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・レセプションist養成講座（講師：サントリーパブリシティサービス㈱、全6回） ・ピアルレッスン（講師：高橋多佳子氏） ・高校生演劇ワークショップ（講師：田上豊氏）		・レセプションist養成講座：4回 延べ37人参加 ・ピアルレッスン：6人参加 ・高校生演劇ワークショップ：21人参加	
	当初予算額	5,616 千円	決算	2,744 千円
令和6年度	主な経費	謝金、費用弁償、公演料		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・レセプションist養成講座（講師：サントリーパブリシティサービス㈱、全3回） ・学芸員育成研修（講師：未定、市内文化施設学芸員が対象） ・市内の中学校、高校等からミライニに寄せられた学生が主体となって実施する文化芸術関係の取組についての情報を共有し、その実施に向けて連携する		・レセプションist養成講座：実地研修2回、e-ラーニング1回 延べ70人参加 ・学芸員養成研修：中止 ・幼保インリーチ：5回 園児132人参加 ・いろまるワークショップ（ミライニ連携講座）：3/9 168人（こども72人、保護者96人）	
令和7年度	当初予算額	2,358 千円	決算見込額	1,814 千円
	主な経費	委託料、謝金		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・レセプションist養成講座（講師：サントリーパブリシティサービス㈱、4/26～27、eラーニング） ・庄内地域高校演劇部を対象に、プロの講師を招いた研修を実施。男女共同参画部署と連携して、ジェンダーをテーマにした演劇公演を開催 ・ミライニが主催する未就学児向けワークショップに、アーティストの観点から協働 ・希望ホールの未稼働日を活用して、幼稚園児・保育園児を対象にしたホール見学・体験会を開催し、将来の文化芸術の担い手、鑑賞者を育成			
令和7年度	当初予算額	3,509 千円	決算見込額	千円
	主な経費	謝金、費用弁償ほか		

13いろいろな展

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	いいいろいろ展（文化芸術推進プロジェクト会議）	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化芸術推進事業		
事業概要		障がい者の文化芸術活動の発表の機会を提供するとともに、広く市民に多様なアートの魅力を発信するために障がい者アート展を開催するもの		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☒ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☒ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	市内福祉事業所、県立酒田特別支援学校
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) (社福) 酒田市社会福祉協議会、酒田市美術館、やまがたアートサポートセンターら・ら・ら 佐藤真生氏(画家)
4 主な受益者	1.全ての市民(特に力を入れている対象がある場合：障がい者) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳(3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	入場者数	人	716	754	717	800		
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

13いろいろな展

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	・昨年度比で会期は1日短縮したが来場者数は上回り、アンケートの結果からも本事業の認知度が向上していることがわかった ・出展事業所からも入所者の作品の発表の場としての本アート展について好評を得た
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	・会期延長を含め、他会場での展示など、より多くの市民に本アート展に触れてもらう機会を作るため関係機関等と調整しながら実施する ・事業所や入所者の日常を侵さない範囲で、多様なアートの魅力をより多くの人に知っていただくという本アート展の趣旨や目的に寄与する事業を検討し実施していく	・入所者の保護者から会期の延長を望む声が寄せられた ・事業所からは作品展示に関する以外の負担や役割を求められることへの懸念が示された ・来場者数は増加したが出展者の家族や関係者が多く、一般への広がりという視点からは改善の余地が多分にある
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・文化芸術推進計画を踏まえ、市文化施策における障がい者アート展の立ち位置や実施方法、今後の展開について佐藤真生氏の助言をいただきながら将来像を描いてく	・プレ展示と位置付けたミライニでの展示では、出羽遊心館での本展示を超える892人が作品鑑賞し、より多くの市民に障がい者アートの魅力に触れてもらう機会を作るという目的を達成した
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題

13いろいろな展

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	市内福祉事業所や特別支援学校に通う方々などが制作した絵画、書道作品、造形物などのアート作品の展示を行う 会期：令和5年9月22日（金）～28日（木） 会場：出羽遊心館		入場者数：754人 出展作品数：約160点 出展者数：17団体 8個人 企画：「アートな缶バッジを作ろう」	
	当初予算額	1,167 千円	決算	868 千円
令和6年度	主な経費	委託料、宣伝印刷費		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	市内福祉事業所や特別支援学校に通う方々などが制作した絵画、書道作品、造形物などのアート作品の展示を行う 企画内容や今後の方向性の検討にあたっては佐藤真生氏から関わっていただく中でその知見を得る。 会期：令和6年9月20日（金）～29日（日）の間 会場：出羽遊心館 また上記に加え、ミライニでの作品展示についても検討、調整を行う		（プレ展示） 会期：令和6年9月13日～9月17日 会場：ミライニ 出店作品数：22点 入場者数：892人 出店者数：7団体、1個人 （本展示） 会期：令和6年9月20日～26日 会場：出羽遊心館 出展作品数：152点 入場者数：717人 出展者数：23団体 4個人	
令和7年度	当初予算額	2,670 千円	決算見込額	1,888 千円
	主な経費	委託料、謝金		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・市内福祉事業所や特別支援学校に通う方々などが制作した絵画、書道作品、造形物などのアート作品の展示を行う ・企画内容や今後の方向性の検討にあたっては佐藤真生氏から関わっていただく中でその知見を得る ・ミライニを会場としたプレ展示を開催し、一般市民に対しての周知を図る ・若竹ミュージカル公演にあわせ希望ホールでの展示を行う プレ展示 会期：令和7年9月中旬（調整中）、会場：ミライニ 本展示 会期：令和7年9月下旬、会場：出羽遊心館 若竹ミュージカル 会期：令和7年11月2日 会場：希望ホール			
令和7年度	当初予算額	2,600 千円	決算見込額	千円
	主な経費	委託料、宣伝印刷費ほか		

14東京藝大との連携事業

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	東京藝術大学との連携事業（文化芸術推進プロジェクト会議）	担当 課	文化政策課
	予算事業名	文化芸術推進事業		
事業概要		東京藝術大学との協定に基づき、市民アートコーディネート調査研究で得られた知見を活用しながら連携した事業を行うもの		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☒ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☒ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☒ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	東京藝術大学
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 東京藝術大学（委託料）
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

	単位	実績			目標		
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)							
(2)							
(3)							
(4)							
(5)							

14東京藝大との連携事業

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	
		◆課題
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・市民アートコーディネート調査研究で得られた知見を活かしながら、アートプロジェクトへの支援のあり方や市民アートコーディネーターの育成に関する事業について東京藝術大学と検討し実施する	市民アートコーディネーターの育成に関する調査研究を基に、「アーティスト・イン・レジデンスさかた」を実施することで、市民とアーティストが積極的に交流する場を提供し、市民の芸術理解や創造力を深める機会を作り出した。
		◆課題 ・人材育成という目的に向けて、市民の持続的な参加を促進する枠組みの構築が必要である。 ・若年層の関心を引き、積極的な参加を促すための効果的なアプローチ戦略が求められる。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・市民が単なる参加者としての枠組みを超え、より主体的な関わり方を経験できるよう、AIR事業を中心としたサポーターやボランティアとして参画可能なポジションを提示する。 ・若年層に向けて、SNSやデジタルメディアを活用するとともに、若者が集まる場所との連携を強化し、イベントの効果的な告知および集客活動を推進する。	
		◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

14東京藝大との連携事業

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	当初予算額	千円	決算	千円
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	市民アートコーディネーター調査研究で得られた知見を活かしながら、アートプロジェクトへの支援のあり方や市民アートコーディネーターの育成に関する事業を実施する。 具体的な事業内容は東京藝術大学と検討を進めながら決定する。		アーティスト・イン・レジデンスさかた ■佐藤悠 ①歩く！アート鑑賞を始めよう ・実施日 ：R6年12月14日、R7年1月18日、2月9日 ・参加者数：計45名 ②酒田散漫さんぽ ・実施日：R7年3月15日、20日、29日 ・参加者数：未集計 ■和氣光凜、田中ジョン直人 ①編む手／解く手 ・実施日：R7年2月22日～3月16日の土日祝 ・参加者数：未集計	
	当初予算額	3,000 千円	決算見込額	3,000 千円
	主な経費	委託料		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・市民アートコーディネーターの発掘・育成のため、アーティスト・イン・レジデンスに招聘したアーティストと協力して、市民向けのワークショップや参加型のイベントを開催する。 ・藝大連携事業に対して高い関心を有する市民が継続的に参画できる枠組みを構築し、より体系的かつ組織的な人材育成の推進を図る。 ・文化芸術に関心のある市民や地元アーティストなどが自由に集うことのできる拠点づくりについて検討する。			
	sa	3,000 千円	決算見込額	千円
	主な経費	委託料ほか		

15鑑賞事業

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	鑑賞事業（文化芸術推進プロジェクト会議）	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化芸術推進事業		
事業概要		主催又は共催により希望ホールで公演を開催し、多くの市民に文化芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、希望ホールを身近に感じてもらうことでその活用促進を図るもの		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☒ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☒ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市及び公演主催事業者等
2 関係団体等	民間プロモーター、イベンター、TV局等
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 民間プロモーター、イベンター、TV局等
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	来場者数	人	3,658	7,157		7,500		
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

15鑑賞事業

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	・宝くじ文化公演を開催し、近年少なかったポップス系コンサートということもあり即日完売するなど賑わいに寄与するとともに、市民ニーズの高さを認識することができた ・その他、人気のソリストが出演するオーケストラや、TV出演しているピアニストのコンサートが満席となり、多くの人に来館してもらう機会となった
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・ポップス系音楽、クラシック音楽、演劇、子どもやファミリー層向けの催し、エンタメ系などバラエティに富んだ公演の開催を目指し、プロモーターとの交渉や調整を行う	・多彩なジャンルの公演を招致したことで、子どもから年配の方まで様々なニーズに応えることができた。公演の入場者数も増加し、市民が希望ホールに来館するきっかけとなった
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	・露店の取組については「きぼうグルメテラス」と銘打って、市民から「公演の際には露店がある」という認識を持ってもらうべく、チラシ、SNS等を駆使して周知していく	・多くの集客が見込まれる公演を中心に、新規でホール前に露店を出店した。取組について参加事業者からは好意的に受け止められた一方で、まだ市民からは十分に認知されておらず公演により集客にばらつきがあった
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

15鑑賞事業

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・宝くじ文化公演（ポップス公演） ・酒田共同火力創立50周年記念仙台フィルスペシャルコンサート ・オーケストラ（2公演） ・ピアノコンサート（1公演） ・ダンス公演（1公演） ・歌舞伎（1公演）		・宝くじ文化公演 青春輝きライブ 1990：1,183人 ・酒田共同火力創立50周年記念 仙台フィルスペシャルコンサート：1,287人 ・新日本フィル・モエ交響楽団酒田公演：556人 ・花王ファミリーコンサート in 酒田：1,150人 ・清塚信也 コンサートツアー-2023：1,180人 ・大駱駝艦 天賦典式「クレイジー・キャナル」酒田公演：171人 ・中村勘九郎 七之助 錦秋特別公演：1,600人 ・辻彩奈×佐藤晴真×藤田真央 ピアノリサイタル：1,213人	
	当初予算額	3,625 千円	決算	1,700 千円
	主な経費	共催事業費（負担金、会場借上料）、チケット販売手数料		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・希望いっぱいコンサート ・ミュージカル（情報公開前） ・Novelbright LINE TOUR 2024 ～CIRCUS～ ・南こうせつコンサートツアー-2024 ～神田川～ ・11月企画主催公演（情報公開前） ・さくらんぼテレビ主催公演（情報公開前） ・オーケストラ（情報公開前） ・山形テレビ主催公演（情報公開前） ・山形放送主催公演（情報公開前）		・わらび座ミュージカル「北斎マンガ」：600人 ・南こうせつコンサートツアー-2024 ～神田川～：1,210人 ・特選落語会 林家たい平 独演会：710人 ・よしもとお笑いライブ IN酒田：720人 ・花王ファミリーコンサート 仲道郁代ピアノ・リサイタル：1,120人 ・ウルフルズライブツアー-2024：1,194人 ・Novelbright LINE TOUR 2024：1,200人 ・仮面ライダースーパーライブ2025：1,414人 ・恐竜ラボ！キング・オブ・ハンターズ：3/22（地元商店街との連携事業：露店の出店） ・よしもとお笑いライブ IN酒田：5店舗 ・Novelbright LINE TOUR 2024：6店舗 ・恐竜ラボ！キング・オブ・ハンターズ：3/22	
	当初予算額	6,290 千円	決算見込額	6,398 千円
	主な経費	負担金、会場借上料、チケット販売手数料		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・岡本知高 ・My Hair is Bad ・大黒摩季 ・東京スカパラダイスオーケストラ ・オフセンター主催公演（情報公開前） ・花王ファミリーコンサート ・クールマイン主催公演（情報公開前） ・山形交響楽団庄内定期演奏会 ・東京学芸大学付属特別支援学校の卒業生とその関係者によるミュージカルを開催 ・大型公演の際の商店街等による露店の出店			
	当初予算額	7,704 千円	決算見込額	千円
	主な経費	会場借上料、チケット販売手数料、公演料ほか		

16アートプロジェクト活動支援補助金

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	アートプロジェクト活動支援補助金（文化芸術推進プロジェクト会議）	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化芸術推進事業		
事業概要		市民の自由な発想と自発的な意志に基づいた文化芸術活動により酒田市文化芸術推進計画を一層推進するため、計画の趣旨に沿った活動を対象に補助金を交付するもの		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☒ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☒ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	酒田市文化芸術推進プロジェクト会議
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 酒田市文化芸術推進プロジェクト会議
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	申請件数	件	—	—	6			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

16アートプロジェクト活動支援補助金

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	
		◆課題
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・酒田市文化芸術推進計画の基本的施策又は重点的視点に沿った事業を対象とし、計画の推進を担保する ・交付決定にあたってはプロジェクト会議の審査を経ることとし市民や民間の視点を取り入れていく	・予算額を超える申請があり、市民ニーズや民間で取り組んでいる文化芸術活動の掘起しをすることができた
		◆課題 ・運用初年度ということもあり、プロジェクト会議構成員の中での審査基準について意識の統一がなされていなかった。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・文化芸術推進計画を踏まえながら、新たに分かりやすい審査基準を設定して、市民の文化芸術的ニーズに対し的確に補助が行われるようにする。審査方式も従来の書類審査に加え、申請者によるプレゼン方式を導入する	
		◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

16アートプロジェクト活動支援補助金

7 事業内容

◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
当初予算額	千円	決算	千円
主な経費			
◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
市民の自由な発想と自発的な意志に基づいた文化芸術活動により酒田市文化芸術推進計画を一層推進するため、計画の趣旨に沿った活動を対象に補助金を交付する ◆対象事業は以下の通り ・計画の基本的施策20項目のいずれかに該当する事業 ・計画の重点的視点である「文化芸術による社会課題の解決」「子どもたちを対象にした文化芸術事業の充実」のいずれかに寄与する事業 ・市内で実施する事業 ◆補助率 対象経費の2/3(上限50万円)		申請期間 令和6年4月1日～5月15日 申請団体 6団体 審査結果 3団体へ補助金交付 ・書道教育センター：303千円 ・SAKATART×ミライニシアター：254千円 ・鳥海高原アートキャンプ実行委員会：443千円	
当初予算額	1,000 千円	決算見込額	1,000 千円
主な経費	補助及び交付金1,000千円		
◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
市民の自由な発想と自発的な意志に基づいた文化芸術活動により酒田市文化芸術推進計画を一層推進するため、計画の趣旨に沿った活動を対象に補助金を交付する ◆対象事業は以下の通り ・計画の基本的施策20項目のいずれかに該当する事業 ・計画の重点的視点である「文化芸術による社会課題の解決」「子どもたちを対象にした文化芸術事業の充実」のいずれかに寄与する事業 ・市内で実施する事業 ◆補助率 対象経費の2/3(上限50万円)			
当初予算額	1,000 千円	決算見込額	千円
主な経費	補助及び交付金1,000千円		

17文化資料館

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	文化資料館(仮称)整備事業（～R5） 文化資料館管理運営事業（R6～）	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化資料館(仮称)整備事業（～R5） 文化資料館管理運営事業（R6～）		
事業概要		・資料館・光丘文庫・公文書館・市史編纂の機能を持つ「過去にあった酒田の出来事（行政を含む）や文化を未来に伝えるための総合施設」を整備し、その運営及び施設管理を適切に行い、資料の利活用の推進及び利便性の向上を図るもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☒ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民(特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳(3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他()

5 事業に対する活動指標

	単位	実績			目標		
		R4	R5	R6(2月時点)	R7	R8	R9
(1) 文化資料館入場者数	件	—	—	6,244			
(2)							
(3)							
(4)							
(5)							

17文化資料館

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	・開館に向けて計画的に整備を進めた。 ・複数施設で実施していた機能を集約することにより、本市の歴史や文化資料を一括管理・公開が可能とする環境を整備した。 ◆課題 ・各施設から所蔵資料を集約したが、資料の整理まで至っていない。 ・各施設の所蔵資料台帳(紙、エクセル)が整っていない状況のため、統一したシステムによる管理が必要。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・常設展示及び企画展示について、開館までの準備期間が短期間となるため、展示をするために必要な事項と課題を洗い出すとともに、関係者でスケジュールを共有しながら、必要な対応が漏れないよう準備を進めていく。 ・顧問や協議会委員の意見等を頂きながら、統合前の各施設等での運営にとらわれない新しい運営体制を確立する。 ・所蔵資料の台帳整理を進めるとともに、令和8年度からの所蔵品管理等システム導入を検討していく。	・酒田ならではの特長を取り上げた年間5回の企画展を開催し、酒田の風土・歴史・文化を分かりやすく紹介した。 ・顧問から定期的に助言を受けるとともに、酒田市文化資料館協議会を開催し、館の運営体制を整備した。 ◆課題 ・入館者の8割以上が大人であり、高校生以下の入館者が少ない。（特に授業で来館する機会が少ない中学生と高校生） ・展示における特定歴史公文書の活用 ・レファレンスサービスの在り方についての整理が必要。 ・所蔵資料に係る台帳整備と管理システムの導入に向けた事前準備について、令和7年度中に完了する必要がある。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・学校の先生との意見交換の機会を設け、学校の歴史関係の授業での活用可能性や文化資料館への要望を把握する。 ・年間4回の企画展を開催する中で、特定歴史公文書を活用した企画展（明治時代から現在に至るまでの酒田市と市町村制、合併の歴史を紹介）を開催する。 ・引き続き顧問からの定期的な助言を受けるとともに、酒田市文化資料館協議会を年2回開催し、委員からの意見を踏まえた運営の見直しを行っていく。 ・令和8年度に収蔵品管理システムを導入するため、システムに取り込むための仮台帳データの整備を進めるとともに、システム導入後のデジタルアーカイブの在り方についても検討していく。	◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

17文化資料館

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	令和6年度オープンに向けての開館準備 ・改修工事(総合文化センター旧図書館跡地) ・資料館、光丘文庫等からの資料移転、収納 ※都市構造再編集集中支援事業補助金(補助率50%)		令和6年度の開館に向け、改修工事を実施するとともに、資料館、光丘文庫等からの資料等の移転を実施した。また、館の運営に必要な備品(軽量棚、移動式展示ケース、アクリル展示台、パーテーション等)を購入するとともに、館内での庁内無線LAN環境を整備した。	
	当初予算額	155,631 千円	決算	152,255 千円
	主な経費	工事費、備品購入費、資料運搬委託料等		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・文化資料館の管理・運営に関する経費 ・文化資料館の円滑な運営を図るための運営協議会開催 ・年間5回の企画展示実施 ・文化財、歴史等に精通した顧問委嘱に係る経費 ・光丘文庫時代に整備したデジタルアーカイブに係る経費 ・市史販売業務に係る経費		・文化資料館協議会の開催 1回 ・年間5回の企画展示実施 第1回 日本の中の酒田 第2回 発掘された酒田市の遺跡 第3回 両羽博物図譜-松森胤保が描いた世界- 第4回 冬の酒田の民俗文化1 収蔵品展 塞道の幕展 第5回 冬の酒田の民俗文化2 年中行事に見る黒森歌舞伎 ・顧問の委嘱(東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター長 北野 博司氏) ・顧問の来館回数 12回(2月末現在) ・市史販売の実施(市役所地下売店、松山文化伝承館、酒田夢の倶楽)	
	当初予算額	4,836 千円	決算見込額	4,220 千円
	主な経費	施設管理委託料、使用料等		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・文化資料館の管理・運営に関する経費 ・文化資料館の円滑な運営を図るための運営協議会開催 ・年間4回の企画展示実施 ・文化財、歴史等に精通した顧問委嘱に係る経費 ・光丘文庫時代に整備したデジタルアーカイブに係る経費 ・市史販売業務に係る経費			
	当初予算額	4,790 千円	決算見込額	千円
	主な経費	報償費843千円、一般需用費743千円、使用料589千円ほか		

18旧燈屋修復

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	史跡旧燈屋修復事業	担当 課	文化政策課
	予算事業名	史跡旧燈屋修復事業		
事業概要		国指定史跡「旧燈屋」は、修理工事から20年が経過したことから、雨漏りや耐震性がなく地震で倒壊の恐れもあるため、修復工事(屋根の大規模修繕及び耐震補強工事)を実施し、安全な環境整備を図るもの。【事業期間:平成28～令和8年度予定】		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☒ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	指導委員会(文化庁と有識者から構成)
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 指導委員会(報酬)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	ワークショップ参加人数	人	—	33	—			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

18旧燈屋修復

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	・計画的に修復工事を実施した。 ・市民等を対象にしたワークショップを実施し、旧燈屋の歴史的価値の保存及び地域の歴史や文化を尊ぶ心を醸成し、郷土愛にあふれた人材育成を図った。 ◆課題 ・文化庁の補助を受けての工事であるため、事業完了までの期間が補助金の交付状況に左右されてしまうことから、工事に伴う閉館期間の長期化が課題となっている。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・文化庁、山形県担当課との連携を密にし、補助金の確保につなげていく。 ・工事に伴う閉館期間中においても、旧燈屋の存在を市民等に認識してもらうため、ワークショップを継続して実施していく。	・計画的に修復工事を実施した。 ・工事の施工内容や施工状況との兼ね合いで、令和6年度は市民等を対象にしたワークショップを実施することができなかった。 ◆課題 ・令和7年度の文化庁への事業要望額に対し、約2割を減額した額での補助金の内示となったため、令和7年度に予定していた工事の一部が令和8年度にずれこむこととなった。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・引き続き、文化庁、山形県担当課との連携を密にし、補助金の確保につなげていく。 ・工事の施工状況等を考慮しながら、旧燈屋の存在を市民等に認識してもらうためのワークショップ（見学会）の開催を検討していく。	◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

18旧鎧屋修復

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	指導委員会の指導を受けながら実施する。 (H28年度～R7年度予定) 令和5年度 直接仮設工事、屋根工事、木工事、西側下屋軸組補修 ※(国)文化財保存事業費補助金、(県)文化財保存事業費補助金、旧鎧屋修復事業支援寄附金(ガバメントクラウドファンディング)		・指導委員会を設立し、2回の委員会を実施して有識者からの意見を頂いた。 ・修復工事については、予定どおり完了した。	
	当初予算額	45,142 千円	決算	44,424 千円
	主な経費	工事費、工事監理委託料等		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・指導委員会年2回開催 ・屋根改修、耐震補強工事、木工事(床組、根太、床間、押入、廻縁、長押の復旧)の実施 ・工事監理と令和7年度施行内容の設計に係る業務委託・指導委員会の設置 【特定財源】 (国)文化財保存事業費補助金、(県)文化財保存事業費補助金		・指導委員会を5月と10月の2回開催し、有識者からの意見を頂いた。 ・修復工事については、遺構の発見により十分な施工期間が確保できなくなった一部の工程を除き、予定どおり完了する見込み。	
	当初予算額	107,209 千円	決算見込額	106,576 千円
	主な経費	工事費、工事監理業務委託料		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・指導委員会年2回開催 ・屋根改修、耐震補強工事、木工事(庇・戸袋・下見版の復旧)、左官工事の実施 ・工事監理と令和8年度施行内容の設計に係る業務委託・指導委員会の設置 【特定財源】 (国)文化財保存事業費補助金、(県)文化財保存事業費補助金			
	当初予算額	91,776 千円	決算見込額	千円
	主な経費	工事請負費76,153千円、工事監理業務委託料13,607千円、借上料1,318千円ほか		

20文化財管理

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	文化財管理事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化財施設管理事業（～R5） 文化財管理事業（R6～）		
事業概要		地域の貴重な財産であり観光資源でもある文化財を適切に管理し、有効活用を図るとともに、市民が文化財への理解を深められるように環境整備を行うもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- ☒ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	運営協議会、まちづくりネット松山
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 運営協議会(報酬)、まちづくりネット松山(松山文化伝承館指定管理)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6(1月時点)	R 7	R 8	R 9
(1)	松山文化伝承館年間入館者数	人	4,547	4,686	3,280			
(2)	阿部記念館年間入館者数	人	12	155	－			
(3)	旧阿部家年間入館者数	人	2,741	1,536	1,423			
(4)	旧白崎医院 (R5.7～休館)	人	1,855	881	－			
(5)								

20文化財管理

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	市内文化財及び文化財施設を良好な状態で保存管理し、市民、観光客等に公開、観覧できるようにするため、施設を維持管理した。 ◆課題 貴重な文化財や歴史資料の散逸を防ぐとともに、適正に管理保存し、展示する機会を設けることにより、多くの市民への文化財保護の重要性をPRし、理解を深めていくことが課題。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・各文化財施設等のPRについて、新たに開館する文化資料館とも連携しながら工夫して実施していきたい。 ・旧白崎医院については令和5年度に外観修復を行ったが、旧光丘文庫については目途が立っていないため、旧光丘文庫を含む昔からの町割を残す区域を重要文化的景観に指定して国の補助を得ることも検討していきたい。	・松山文化伝承館のスロープ・誘導灯、松山城址館のエアコン、旧鳥海小学校展示室の階段、城輪柵跡の標柱等の修繕を実施するなど適切な管理に努めた。 ◆課題 ・旧光丘文庫周辺の環境整備 ・阿部記念館建物の除却 ・各文化財及び文化財施設の適切な管理の実施
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・旧光丘文庫周辺の樹木剪定を実施し、環境整備を進めるほか、文化資料館で光丘文庫100年記念展を開催し、旧光丘文庫のPRを行う。 ・令和8年度以降に阿部記念館の建物の除却ができるよう、館内の資料の整理と搬出を完了させる。 ・城輪柵跡の植栽管理や除草の実施範囲を見直し、内容を拡充する。	 ◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		 ◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		 ◆課題

20文化財管理

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・酒田市立資料館の維持管理と企画展開催及び館の円滑な運営を図るための協議会の開催 ・松山文化伝承館の円滑な運営を図るための協議会の開催 ・旧鳥海小の維持管理 ・市指定文化財施設(旧白崎医院、旧阿部家)の利活用と維持管理 ・阿部記念館の維持管理 ・酒田町奉行所跡、城輪の柵跡、堂ノ前・八森遺跡の維持管理 ・旧白崎医院外壁改修工事		・郷土資料の収集、展観 ・同上の整理、保管 ・施設の維持管理 ・資料館の企画展の開催 ・文化財施設の活用	
	当初予算額	58,651 千円	決算	58,864 千円
	主な経費	施設管理委託料、工事費等		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・松山文化伝承館の円滑な運営を図るための協議会の開催 ・旧鳥海小の維持管理 ・市指定文化財施設(旧白崎医院、旧阿部家)の利活用と維持管理 ・阿部記念館の維持管理 ・酒田町奉行所跡、城輪柵跡、堂ノ前・八森遺跡の維持管理		・松山文化伝承館協議会の開催 1回 ・旧鳥海小における展示室外階段柵修繕の実施 ・旧白崎医院の定期清掃と雨樋清掃の実施 ・旧阿部家の維持管理と茅葺屋根補修の実施 ・阿部記念館の維持管理と建物の解体に向けたアスベスト調査の実施 ・酒田町奉行所跡における倒木が懸念される木の伐採と定期的な除草の実施 ・城輪柵跡における定期的な除草の実施と標柱修繕の実施 ・堂ノ前・八森遺跡の定期的な除草の実施 (9月補正) 495千円 阿部記念館のアスベスト調査手数料。	
	当初予算額	43,305 千円	決算見込額	42,600 千円
	主な経費	施設管理委託料、修繕料等		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・松山文化伝承館の円滑な運営を図るための協議会の開催 ・旧鳥海小の維持管理 ・市指定文化財施設(旧白崎医院、旧阿部家)の利活用と維持管理 ・阿部記念館の維持管理 ・酒田町奉行所跡、城輪柵跡、堂ノ前・八森遺跡の維持管理			
	当初予算額	44,749 千円	決算見込額	千円
	主な経費	施設管理委託料32,082千円、手数料8,867千円、施設修繕料1,136千円ほか		

21文化財保存活動支援

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	文化財保存活動支援、国指定文化財管理補助	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化財保護総務管理事業（～R5） 文化財保護事業（R6～）		
事業概要		・市内文化財及び文化財施設を良好な状態で保存管理し、市民、観光客等に公開、閲覧できるようにするため施設を維持管理する。 ・国指定文化財である名勝庭園の荒廃防止を図る。 ・地域団体の民俗芸能の伝承、技術の継承の機会の確保するもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☒ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	文化財保護審議会
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 黒森歌舞伎保存会(委託)、酒田民俗芸能保存会(補助金)、総光寺(補助金)、本間美術館(補助金)
4 主な受益者	1.全ての市民(特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳(3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	民俗芸能フェスタ入館者数	人	168	223	－			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

21文化財保存活動支援

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	民俗芸能の伝承及び技術の継承の機会の確保や名勝庭園等の環境整備に対し支援を行った。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	・民俗芸能フェスタの開催により団体の活動の場を確保するとともに、担い手を育成するための取り組みを検討するとともに実施していく。	民俗芸能団体は、コロナ禍期間中に活動の機会が減少し、また地域によっては住民の民俗芸能へのかかわり方の意識にも変化が見られることから、活動の場が減少傾向にある。また、笛の担い手の育成が難しいなど育成や人材確保の面での課題も多い。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・民俗芸能フェスタを再開し、団体の活動の場を提供するとともに、市民が伝統芸能に触れる機会を確保する。 ・酒田市文化財保護条例の規定に基づき、総光寺山門の修復にかかる補助金を交付し、修復を支援する。	民俗芸能フェスタは令和6年7月25日から大雨による災害に係る対応のため中止となり、団体に活躍の場を提供することができなかった。名勝庭園等の環境整備に対しての支援は予定どおり実施した。
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
		・民俗芸能のフェスタの再開と担い手への支援の継続 ・総光寺山門の修復要望への対応
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題

21文化財保存活動支援

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・城輪柵跡、酒田町奉行所等文化財関連施設の維持管理 ・文化財保護審議会の開催 ・全国史跡整備市町村協議会活動の参加 ・文化財説明版・標柱整備等の広報活動 ・試掘等の埋蔵文化財調査費 ・文化財保存活動支援事業費補助金の交付 - 山形県文化財保護協会負担金 - 全国史跡整備市町村協議会負担金 - 山形県史跡整備市町村協議会負担金 - 文化財保存活動支援事業費補助金 - 国指定文化財管理事業費補助金 ・黒森歌舞伎酒田公演及び松山能公演委託		城輪柵跡、酒田町奉行所などの文化財関連施設の維持管理 文化財保護審議会の開催（2回） 全国史跡整備市町村協議会活動の参加 文化財説明版・標柱整備などの修繕 試掘等の埋蔵文化財調査の実施 黒森歌舞伎酒田公演及び松山能公演の委託 文化財保存活動支援、国指定文化財管理補助の実施	
	当初予算額	9,133 千円	決算	9,337 千円
	主な経費	役務費・借上料(試掘関係)、補助金、委託料等		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・文化財保護審議会の開催 ・全国史跡整備市町村協議会活動の参加 ・文化財説明版・標柱整備等の広報活動 ・試掘等の埋蔵文化財調査費 ・文化財保存活動支援事業費補助金の交付 ・山形県文化財保護協会負担金 - 全国史跡整備市町村協議会負担金 - 山形県史跡整備市町村協議会負担金 - 文化財保存活動支援事業費補助金 - 国指定文化財管理事業費補助金 ・黒森歌舞伎酒田公演委託料 ・飛島ウミネコ繁殖地再生に係る経費		文化財保護審議会の開催（1回） 全国史跡整備市町村協議会活動の参加 文化財説明版・標柱整備などの修繕 試掘等の埋蔵文化財調査の実施 黒森歌舞伎酒田公演の委託 酒田市民俗芸能保存会への補助の実施 国指定文化財管理補助の実施 飛島ウミネコ繁殖地再生委員会の設立、現地視察の実施及び委員会の開催（2回）	
	当初予算額	9,655 千円	決算見込額	9,109 千円
	主な経費	役務費・借上料(試掘関係)、補助金等		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・文化財保護審議会の開催 ・全国史跡整備市町村協議会活動の参加 ・文化財説明版・標柱整備等の広報活動 ・試掘等の埋蔵文化財調査費 ・文化財保存活動支援事業費補助金の交付 ・山形県文化財保護協会負担金 ・全国史跡整備市町村協議会負担金 ・山形県史跡整備市町村協議会負担金 ・文化財保存活動支援事業費補助金（酒田市民俗芸能保存会、總光寺山門屋根修復） ・国指定文化財管理事業費補助金 ・黒森歌舞伎酒田公演委託料			
	当初予算額	23,931 千円	決算見込額	千円
	主な経費	總光寺山門修復補助金16,000千円、借上料1,967千円、手数料1,648千円ほか		

23山居基本計画

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	山居倉庫整備基本計画策定事業	担当課	R 5都市デザイン課 R 6～文化政策課
	予算事業名	山居倉庫整備基本計画策定事業		
事業概要		・令和4年度に策定した山居倉庫保存活用計画を基に国指定史跡山居倉庫の来訪者へ史跡の本質的価値を正しく伝え、史跡の保全と次世代への継承を図り、史跡の特色を活かした整備を目指すため、史跡山居倉庫整備基本計画を策定する。【令和5～6年度2か年】		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・該当する施策の上位3つまで

- ☒ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

23山居基本計画

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	・令和5年度に定めるべき項目について課題が多数あり、意見を集約するまでに至らなかった。
		◆課題 ・令和5年度業務の進捗が滞ったため、今後の進め方について関係者との協議が必要。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・令和6年度は、文化庁、有識者等との連携を密にし、課題を洗い出しその課題解決に向けた内容に絞り、会の運営を図っていく。 ・建築物耐震診断及び地盤調査の実施については、文化庁や山形県担当者と事前に十分な協議を行い、手戻りの無いよう実施していく。	・委員会を2回開催したほか、2つの分科会を立ち上げ、計画策定に向けた課題の洗い出しと意見の収集等を行った。 ・建築物耐震診断及び地盤調査を実施し、計画策定に必要な基礎データの収集を行った。
		◆課題 ・耐震診断未実施の建物（3～9号棟、研究室棟、事務室棟の耐震診断）についての調査の実施 ・令和7年度中の整備基本計画の策定完了
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・耐震診断未実施の建物についての調査を実施する。 ・文化庁、有識者等との連携を密にし、令和7年度中に整備基本計画を策定し、報告書を作成する。	
		◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

23山居基本計画

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	山居倉庫整備基本計画の策定 ・策定委員会、年3回(R5.7月、11月、R6.2月)開催 ※(国)文化財保存事業費補助金、(県)文化財保存事業費補助金		学識経験者よりそれぞれの分野から意見をいただくための策定委員会を年3回実施し、以下の内容について協議を行ったが、さまざまな課題があり、年度内に意見集約まで至らなかった。 ・計画策定の経過、目的、計画地の現状、史跡等の概要及び現状と課題、基本方針、整備基本計画（全体計画及び地区区分計画、遺構保存に関する計画、歴史的建造物・石垣・庭園等修復に関する計画、動線計画、地形造成に関する計画）	
	当初予算額	5,000 千円	決算	3,345 千円
	主な経費	委託料、報酬等 3月補正後予算額4,332千円（計画策定支援委託料請差）		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・策定委員会を年2回開催予定 ・計画策定に必要な基礎データを得るため、耐震診断及び地盤調査を実施 【特定財源】(国)文化財保存事業費補助金、(県)文化財保存事業費補助金		・策定委員会の開催（2回） ・保存分科会、活用分科会の開催（各1回） ・整備基本計画策定支援業務委託の実施 ・建物の耐震診断（1, 2, 10～12号棟）及び地盤調査を実施	
	当初予算額	22,522 千円	決算見込額	20,798 千円
	主な経費	策定支援業務委託料等		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・策定委員会を年2回開催予定 ・保存分科会、活用分科会を随時開催 ・令和7年度中に整備基本計画を策定する。 ・計画策定に必要な基礎データを得るため、耐震診断が未実施の3～9号棟、研究室棟、事務室棟の耐震診断を実施する。 【特定財源】(国)文化財保存事業費補助金、(県)文化財保存事業費補助金			
	当初予算額	46,747 千円	決算見込額	千円
	主な経費	耐震診断委託料39,831千円、整備基本計画策定支援業務委託料4,873千円、費用弁償1,014千円ほか		

24山居整備

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	山居倉庫整備事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	山居倉庫整備事業		
事業概要		国指定史跡「山居倉庫」を適切に保存・活用するための施設整備を行う。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☒ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☒ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

24山居整備

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	
		◆課題
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・自動火災報知設備整備及びケヤキ並木樹勢回復の実施について、文化庁や山形県担当者と事前に十分な協議を行い、手戻りの無いよう実施していく。 ・山居倉庫のシンボルである櫟並木の樹勢回復については、特に衰えの見られる範囲から実施し、その効果の検証を図る。	・自動火災報知設備整備については、予定どおり実施した。 ・ケヤキの樹勢が衰退している箇所のうち、1号棟から5号棟までの間のケヤキについて、樹木医と専門家の意見を基にした樹勢回復施工を試験的に実施した。
		◆課題 ・ケヤキ樹勢回復については、樹勢回復の状況を経過観察し、今後の施工方法を検討する必要がある。 ・倉庫棟の雨樋等に破損があり、雨水処理が機能していない箇所がある。 ・現在使用できない消火栓について、更新する必要がある。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・雨水の飛散は漆喰壁の破損につながる恐れがあり、雨樋を修繕して機能向上を図ることにより、雨水処理に万全を期し倉庫全体の保存を図る。 ・来訪者の安全性の確保と史跡の保全を図るため、敷地内の老朽化した私設消火栓3基を更新する。	
		◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

24山居整備

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	当初予算額	千円	決算	千円
令和6年度	主な経費			
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①自動火災報知設備整備 ・取得した建物への自動火災報知設備の新設 ②ケヤキ並木樹勢回復整備 ・特に衰えの見られる範囲（1号棟から3号棟）を先行して実施 ③電源改修（設計） ・同一敷地で2か所から受電している状態の解消に係る工事 【特定財源】（国）文化財保存事業費補助金、（県）文化財保存事業費補助金		①来訪者の安全性の確保と史跡の保全を図るため、倉庫棟2号棟～10号棟（下屋含む）、事務所棟、研究室棟、板倉及び赤場に消防法に適合した火災報知器を設置した。 ②ケヤキの樹勢が衰退している箇所のうち、1号棟から5号棟までの間のケヤキについて、樹木医と専門家の意見を基にした3パターンの樹勢回復施工を試験的に実施した。 ③同一敷地で2か所から受電している状態の解消のための電源一元化工事に係る設計書を作成した。	
	当初予算額	25,574 千円	決算見込額	22,551 千円
	主な経費	工事費、委託料等		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
令和7年度	・1～10号棟の劣化・破損している雨樋・集水桶の修繕 ・私設消火栓の3か所の改修工事			
	当初予算額	26,758 千円	決算見込額	千円
	主な経費	雨樋修繕工事費23,088千円、消火栓取替工事費3,430千円、費用弁償240千円		

25山居施設管理

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	山居倉庫施設管理事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	山居倉庫施設管理事業		
事業概要		令和5年度に取得する国指定史跡「山居倉庫」を適切に維持管理することにより山居倉庫の歴史的価値の保存及び地域の歴史や文化を尊ぶ心を醸成し、郷土愛にあふれた人材を育成する。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- ☒ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☒ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	山居倉庫特別見学会参加者数	人	－	－	18			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

25山居施設管理

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	
		◆課題
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・山居倉庫を安全に維持できるよう、見回り点検や維持管理に努め、市民の文化資源の誇りの醸成につなげていくとともに、施設整備の進捗状況に合わせ随時見直しを行っていく。	・山居倉庫を良好な状態で保存管理し、市民、観光客等に公開、観覧できるようにするため、施設を維持管理した。 ・史跡の保存と活用に対して市民に一層の理解を深めてもらうため、山居倉庫特別見学会を実施した。
		◆課題 酒田観光物産協会のいろは蔵パークへの移転に伴い、令和7年度からは、11号棟及び12号棟の管理についても行う必要がある。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・これまで管理してきた1号棟から10号棟までとその周辺に加え、令和6年度まで観光物産協会で管理していた11、12号棟及びその周辺についても、必要な維持管理を行っていく。 ・雨樋修繕や消火栓更新の各工事の施工状況等を考慮しながら、史跡の保存と活用に対して市民に一層の理解を深めてもらうための特別見学会の開催を検討していく。	
		◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

25山居施設管理

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	当初予算額	千円	決算	千円
	主な経費			
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	山居倉庫1～10号棟、事務所棟、研究室、トイレ等の維持管理を行う		山居倉庫1～10号棟、事務所棟、研究室、トイレ等の維持管理を実施した。 (12月補正) 4,041千円 酒田観光物産協会の退去後の12号棟を改修し、仮ガイダンス機能を整備するための展示設計及び修繕費用。	
	当初予算額	12,856 千円	決算見込額	13,701 千円
	主な経費	修繕料、施設管理委託料等		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・これまで管理してきた1号棟から10号棟までとその周辺に加え、酒田観光物産協会が11号棟及び12号棟から「いろは蔵パーク」に移転した後の山居倉庫の管理・運営を行う。 ・酒田観光物産協会移転後の12号棟に観光ボランティア、施設管理人を配置して、観光客の利便性の向上、山居倉庫の歴史的価値の周知を図る。			
	当初予算額	27,357 千円	決算見込額	千円
	主な経費	施設管理委託料20,954千円、借上料1,556千円、光熱水費1,472千円ほか		

【社教】26生涯学習施設

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	生涯学習施設管理運営事業	担当 課	教育委員会 社会教育課
	予算事業名	生涯学習施設管理運営事業		
事業概要		生涯学習施設の適切な管理運営を行い、安全で使いやすいニーズにあった施設管理を行うことで、市民の社会教育・生涯学習の推進を図るもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|--|
| ☒ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☒ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

	単位	実績			目標		
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)							
(2)							
(3)							
(4)							
(5)							

【社教】26生涯学習施設

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	予算の範囲内で施設の修繕・整備を行い、文化芸術活動を行う環境の維持向上・改善を図った。 ◆課題 各施設の老朽化が進み、修繕費等がそれに追いつけていない状況。そのため予算の確保が課題。 また、高齢化による活動の縮小が進んでいることに加え、コロナ禍の影響がいまだに波及していることから、利用者が減少している。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	限りある財源の中で、今後の施設の利活用や廃止、用途の変更等の検討を行い、利用者が安全で利用しやすい施設を目指し、適正な管理運営を図っていく。	予算の範囲内で優先順位をつけて施設の修繕・整備を行い、文化芸術活動を行う環境の維持向上・改善を図った。 ◆課題 各施設の老朽化が進んでおり、予算の確保が課題である。 高齢化による活動の縮小が進んでいることに加え、使用料の値上げなどで利用者が減少している施設がある。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	限りある財源の中で、今後の施設の利活用や廃止、用途の変更等の検討を行い、利用者が安全で利用しやすい施設を目指し、適正な管理運営を図っていく。	◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

【社教】26生涯学習施設

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	生涯学習施設の管理運営 ・総合文化センター ・清亀園 ・出羽遊心館 ・天体観測館 ・公益研修センター ・ひらた生涯学習センター ・ひらた農村コミュニティカレッジ ・八森窯体験学習施設		生涯学習施設の管理運営 ・総合文化センター ・清亀園 ・出羽遊心館 ・天体観測館 ・公益研修センター ・ひらた生涯学習センター ・ひらた農村コミュニティカレッジ ・八森窯体験学習施設 6・9・3月補正 2,658千円	
	当初予算額	138,578 千円	決算額	134,384 千円
	主な経費	各種管理委託料、光熱水費、修繕費等		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	生涯学習施設の管理運営 ・総合文化センター ・清亀園 ・出羽遊心館 ・旧天体観測館 ・公益研修センター ・ひらた生涯学習センター ・ひらた農村コミュニティカレッジ ・八森窯体験学習施設		生涯学習施設の管理運営 ・総合文化センター ・清亀園 ・出羽遊心館 ・天体観測館 ・公益研修センター ・ひらた生涯学習センター ・ひらた農村コミュニティカレッジ ・八森窯体験学習施設 9・1・3月補正 2,668千円	
	当初予算額	154,539 千円	決算見込額	149,903 千円
	主な経費	各種管理委託料、光熱水費、修繕費等		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	生涯学習施設の管理運営 ・総合文化センター ・清亀園 ・出羽遊心館 ・旧天体観測館 ・公益研修センター ・ひらた生涯学習センター ・ひらた農村コミュニティカレッジ ・八森窯体験学習施設			
	当初予算額	148,857 千円	決算見込額	千円
	主な経費	施設管理委託料117,321千円、燃料費及び光熱水費20,697千円、修繕料6,017千円ほか		

【社教】27ステップ、すくすく

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	①幼児すてっぷ出前講座 ②親子ですくすく出前講座	担当 課	教育委員会 社会教育課
	予算事業名	生涯学習推進講座開催事業		
事業概要		自己の充実、生活の向上、豊かな人生を送るための講座や地域人材を育成する講座を開催する。①幼児期に「遊び」を通して人間形成の基礎を培うもの。 ②親子でのふれあい体験や保護者の学ぶ機会の提供を行い、家庭教育支援の充実を図るもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|--|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☒ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☒ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	保育園、認定こども園、幼稚園
3 協働者 (事業実施者)	①なし(担当課のみ) ②あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) ①幼児ステップ無し。②親子ですくすく/県(補助金)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	①幼児すてっぷ出前講座 参加園	園	17	19	22			
(2)	①幼児すてっぷ出前講座 参加者数	人	619	819	602			
(3)	②親子ですくすく出前講座 参加園	園	14	23	21			
(4)	②親子ですくすく出前講座 参加者数	人	439	753	551			
(5)								

【社教】27ステップ、すくすく

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	①②利用者は前年度に比べ増加し、未就学児及びその保護者に対して文化芸術に親しむ機会を提供できた。 ②R5年度は、これまでの保育園等に加え、児童発達支援センターはまなし学園でも実施できた。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	「生涯学習推進講座開催事業」の予算内で、できるだけ希望する園で実施出来るよう調整し、未就学児に対する文化芸術にふれる機会の提供を図っていく。	①市内の未就学児等に文化芸術の体験をより多く届けたいが、申し込みが予算を超えたため、実施できなかった園もあった。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	②園のニーズに合わせた新しいメニューを入れたり、活用していない園に積極的に声をかけたりする。	①参加者は前年度に比べ減少したものの、参加園は増加し、未就学児に対して文化芸術に親しむ機会を提供できた。 ②今年度「親子体験コース」のメニューを新たに2つ増やして8メニューにした。その内の1つ「親子ヨガ」に5つの園・子育て支援センターの申し込みがあり、保護者にも園や子育て支援センターにも好評であった。
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
		①市内の未就学児等に文化芸術の体験をより多く届けたいが、申し込みが予算を超えたため、実施できなかった園もあった。 ②講座に申し込む園が毎年ほぼ同じで偏りが見られる。
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題

【社教】27ステップ、すくすく

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	各園からメニューを選択してもらい、講師派遣を行う。 ①幼児すてっぷ出前講座 【対象】園児 【メニュー】紙芝居、チアダンス、積み木ワークショップ、絵本 ②親子ですくすく出前講座 【対象】園児と保護者 【メニュー】 ネイチャーゲーム、フィットネス教室、しかけカード作り、トランスバレント(工作)、絵本作り、リトミック		各園からメニューを選択してもらい、講師派遣を行う。 ①幼児すてっぷ出前講座 【時期】6月～2月 【参加】19園実施、延べ819人参加 ②親子ですくすく出前講座 【時期】6月～2月 【参加】20園・子育て支援センター実施、延べ23回実施、753人参加	
	当初予算額	426 千円	決算額	415 千円
	主な経費	講師謝金、講師費用弁償		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	各園からメニューを選択してもらい、講師派遣を行う。 ①幼児すてっぷ出前講座 【対象】園児 【メニュー】紙芝居、チアダンス、積み木ワークショップ、絵本 ②親子ですくすく出前講座 【対象】園児と保護者 【メニュー】 ネイチャーゲーム、フィットネス教室、しかけカード作り、トランスバレント(工作)、絵本作り、リトミック、紙芝居、ヨガ		各園からメニューを選択してもらい、講師派遣を行う。 ①幼児すてっぷ出前講座 【時期】6月～2月 【参加】22園実施、延べ602人参加 ②親子ですくすく出前講座 【時期】6月～2月 【参加】19園・子育て支援センター実施、延べ21回実施、551人参加	
	当初予算額	466 千円	決算見込額	463 千円
	主な経費	講師謝金、講師費用弁償		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	各園からメニューを選択してもらい、講師派遣を行う。 ①幼児すてっぷ出前講座 【対象】園児 【メニュー】紙芝居、チアダンス、積み木ワークショップ、絵本 ②親子ですくすく出前講座 【対象】園児と保護者 【メニュー】 ネイチャーゲーム、フィットネス教室、しかけカード作り、トランスバレント(工作)、絵本作り、リトミック、ヨガ、ボール遊び			
	当初予算額	482 千円	決算見込額	千円
	主な経費	講師謝金、講師費用弁償		

【社教】28文化伝承

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	酒田文化伝承シリーズ講座	担当 課	教育委員会 社会教育課
	予算事業名	生涯学習推進講座開催事業		
事業概要		自己の充実、生活の向上、豊かな人生を送るための講座や地域人材を育成する講座を開催する。小中学生に酒田の伝統文化に触れる機会を提供し、興味・関心をもってもらうとともに郷土愛を育むもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|--|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☒ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☒ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☒ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合:) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 <u>小学生</u> <u>中学生</u> 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	延べ参加者数	人	8	13	4			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

【社教】28文化伝承

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	酒田の絵ろうそくの歴史を学び酒田の伝統文化に触れる機会を提供できた。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	酒田文化伝承シリーズ講座の内容を変えて実施する。	酒田絵ろうそくは、2年連続で実施してきたが、コミセン等の場所でも開催している内容のため興味関心が薄れつつある。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	酒田の文化を伝承していくため受講者のニーズに合った講座内容を企画する。	親子で南洲翁の観点等から論語の教えを学ぶとともに、家庭内コミュニケーションの方法を学ぶ機会を提供できた。
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
		内容が難しいため、子どもの受講者への配慮が課題。
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

【社教】28文化伝承

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	将来ある子どもたちに酒田で大切に受け継がれてきたモノ、コトを紹介していくシリーズ講座。		令和5年度は前年度に引き続き「絵ろうそくの世界をのぞいてみよう」全1回講座を開催。 実施内容：絵ろうそくの歴史やろうそくの原材料の移り変わり等について講話、ろうそくの絵付け、体験 実施日：11/11（土） 参加者：小学生（1～6学年）13人	
	当初予算額	12 千円	決算額	8 千円
	主な経費	講師謝金、講師費用弁償		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	未定		「親子で学ぶ論語コミュニケーション♪」全1回講座を開催。 実施内容：親子等で論語の教えを活用した家庭内コミュニケーションの方法を学ぶことにより、次代を担う子どもたちの心に道徳心が育まれる機会を提供。 実施日：9/21（土） 参加者：小学生と保護者計4人	
	当初予算額	20 千円	決算見込額	0 千円
	主な経費	講師謝金、講師費用弁償		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	未定			
	当初予算額	0 千円	決算見込額	千円
	主な経費			

【社教】29愛ごはん

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	酒田愛ごはん	担当 課	教育委員会 社会教育課
	予算事業名	生涯学習推進講座開催事業		
事業概要		自己の充実、生活の向上、豊かな人生を送るための講座や地域人材を育成する講座を開催する。酒田市周辺地域の在来野菜や伝統料理を学び、食文化や郷土愛への愛着を育むもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|--|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☒ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☒ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合:) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	延べ参加者数	人	50	69	74			
(2)	講座回数	回	5	5	4			
(3)								
(4)								
(5)								

【社教】29愛ごはん

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	酒田の郷土料理や在来野菜について学び食文化の理解を深めることが出来た。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	受講生の固定化を避け、より多くの市民に届けるため、受講者層に考慮した(例えば小学生の親子など)講座内容を企画する。	参加者が同じ年代等に偏り、固定化が懸念された。(高齢者が多かった)
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	引き続き、多くの市民に届けるために幅広い講座内容を企画する。	全4回のうち、3回を親子向け講座とした。テーマをくだものとしたため新たな層からの受講があった。
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
		旬のくだものをテーマとしたため、実施日と収穫時期が合うかギリギリまでわからなかった。 子どもを対象とした場合、職員配置を増やすべきだった。
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

【社教】29愛ごはん

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	○親子向け講座(10-11月に2回食) ・1回目/平田赤ネギ ・2回目/鮭遡上 ○成人向け講座(5-7月に3回) ・1回目/在来野菜/ウコギ、うるい ・2回目/伝統料理/マスのあんかけうどん、卵寒天、孟宗汁、笹巻 ・3回目/園場見学/鶴渡川原きゅうり		「酒田愛ごはん～在来野菜や伝統料理を学ぶ～」 ○前期(全3回) ①5/27 在来野菜を学ぼう(ウコギ、ウルイ、折菜等)参加者15人、②6/17 お祭りのお祝い行事食(笹巻、あんかけうどん等)参加者14人、③7/8 在来野菜の園場見学と収穫体験(鶴渡川原きゅうり)参加者13人 ○後期(全2回) ①10/28 在来野菜「平田赤ねぎ」を学ぼう参加者12人、②11/25 庄内の行事食「大黒様のお歳夜」を学ぼう参加者15人	
	当初予算額	41 千円	決算額	41 千円
	主な経費	講師謝金、講師費用弁償		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	○親子向け講座を5回開催 地域の産地化されたくだものに着目。 親子では場や選果場見学をしたり、くだものを使った簡単スイーツづくりを通してくだものについて学ぶとともに、郷土について理解を深める。		○親子向け3回、成人向け1回特産くだものをテーマに実施。 「酒田愛ごはん～親子でくだもの探検隊～」 ○いちご 5/11 ①午前回親子24人②午後回親子26人(食べ比べと調理実習) ○メロン 7/13 親子15人(畑、選果場見学と調理実習) 「酒田愛ごはん～くだもの探検隊～」 ○和梨 9/14 成人9人(食べ比べと調理実習)	
	当初予算額	45 千円	決算見込額	33 千円
	主な経費	講師謝金、講師費用弁償		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	○小学生から成人までを対象に4回開催 打ち合わせでは、味噌づくり、むき蕎麦、防災食、柿郷土食や保存食を中心に取り組む。また近年災害が続いたため、防災食にも取り組む。			
	当初予算額	33 千円	決算見込額	千円
	主な経費	講師謝金、講師費用弁償		

【社教】30マリーンジュニア

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	マリーンジュニア合唱団の運営	担当 課	教育委員会 社会教育課
	予算事業名	生涯学習推進講座開催事業		
事業概要		自己の充実、生活の向上、豊かな人生を送るための講座や地域人材を育成する講座を開催する。小中学生を対象に音楽を楽しめる子どもをたくさん増やし、音楽文化を未来に繋いでいくとともに、年齢や学校を超えた活動を通し子どもの健全育成につなげていくもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☒ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☒ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☒ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合:) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 <u>小学生</u> <u>中学生</u> 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	講座回数	回	35	22	21			
(2)	団員数	人	9	16	14			
(3)								
(4)								
(5)								

【社教】30マリーンジュニア

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	新規の団員が7人増え、より充実した合唱活動を行うことができた。また学校以外の場所での文化芸術を親しむ機会の創出や発表の場を提供することが出来た。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	新規の団員募集に努める。	コロナ禍以前は老人施設等での演奏会も実施していた。卒団者(中3)が多く、団員数の減少(一桁)が見込まれ、新規入団者が少ないと合唱自体も難しくなる。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	新規の団員募集に努める。	新規の団員が4人増え、充実した合唱活動を行うことができた。また学校以外の場所での文化芸術を親しむ機会の創出や発表の場を提供することができた。
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
		卒団者が出ると団員数が減少するため、新規入団者数次第では合唱自体が難しくなる可能性がある。
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

【社教】30マリーンジュニア

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	実施期間：5～3月（土曜日） ・通常練習/月2回程度 ・予定公演/ユネスコ童謡を歌う会、定期演奏会 ・保護者会活動/クリスマス会 など		実施期間：6月～3月（土曜日） ・通常練習：全22回 ・公演：①2/10（土）ユネスコ童謡を歌う会、②3/23（土）定期演奏会 ・保護者会活動：12/9（土）クリスマス会 ・団員数：16人	
	当初予算額	134 千円	決算額	151 千円
令和6年度	主な経費	講師謝金、講師費用弁償		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	実施期間/6～3月（土曜日） ・通常練習：全20回 ・予定公演：ユネスコ童謡を歌う会、定期演奏会 ・保護者会活動：クリスマス会 など		実施期間：6月～3月（土曜日） ・通常練習：全21回 ・公演 ①10/5（土）2024東北ブロック・ユネスコ活動研究会山形大会in酒田 ②2/15（土）ユネスコ童謡を歌う会 ③3/22（土）定期演奏会 ・保護者会活動： ①8/17親子レクリエーション ②12/7（土）クリスマス会 ・団員数：14人	
令和7年度	当初予算額	141 千円	決算見込額	138 千円
	主な経費	講師謝金、講師費用弁償		
	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
令和7年度	実施期間/6～3月（土曜日） ・通常練習：全21回 ・予定公演：ユネスコ童謡を歌う会、定期演奏会 ・保護者会活動：クリスマス会 など			
	当初予算額	141 千円	決算見込額	千円
	主な経費	講師謝金、講師費用弁償		

【社教】31地域人材交流

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	地域人材交流講座	担当 課	教育委員会 社会教育課
	予算事業名	生涯学習推進講座開催事業		
事業概要		自己の充実、生活の向上、豊かな人生を送るための講座や地域人材を育成する講座を開催する。小中学校において、地域で専門的な知識や技能を有する地域の人材(以下「地域指導者」)を生かした学習を展開し、学習活動における児童生徒の学習意欲や実践意欲の高揚を図り、地域と学校を結び付け郷土愛を醸成するもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・ ・ 該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☒ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☒ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☒ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	小中学校、地域の方々
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合 :) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 <u>小学生</u> 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

	単位	実績			目標		
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1) 延べ参加者数	人	12,425	10,770	12,024			
(2) 実施校	校	25/28	25/28	24/28			
(3) 実施回数	回	277	274	265			
(4)							
(5)							

【社教】31地域人材交流

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	参加者、回数は前年度に比べ増加している。地域の人材を活用して、文化芸術に触れる機会の創出に支援できた。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	申請手段(郵送・持参)にメールも加え、申請書様式の修正等双方の事務処理をスムーズに行えるように工夫することで、事務の効率化を図り、事業の継続推進し、地域に根ざした小中学生の文化芸術に触れる機会の創出を図る。	引き続き学校と連携しながら事業の継続を図る。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	事務手続き等がさらにスムーズに進められるよう、実施スケジュールや提出書類の様式について見直しをすることで、事業の継続を推進し、地域に根ざした小中学生の文化芸術に触れる機会の創出を図る。	参加者、回数は前年度に比べ増加している。地域の人材を活用して、文化芸術に触れる機会の創出に支援できた。
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
		引き続き学校と連携しながら事業の継続と適正な事業執行に努める。
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題

【社教】31地域人材交流

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	各学校でクラブ活動や総合学習等で講師を地域指導者にお 願いした際の謝礼を補助する(2000円/人・回) ○クラブ活動の事例 ・茶道、光丘掘り、水彩画、天狗舞・獅子舞、傘福づくり、習 字、邦楽楽器演奏、茶道、日本文化、生け花、郷土料理な ど ○学級活動・総合の事例 ・読み聞かせ、地域の伝統野菜、新井田川の学習、米作り、 黒森歌舞伎の歴史、大黒舞の指導、SDGs		各学校でクラブ活動や総合学習等で講師を地域指導者にお 願いした際の謝礼を補助する(2000円/人・回) ○クラブ活動の事例 ・茶道、光丘掘り、水彩画、天狗舞・獅子舞、傘福づくり、習 字、邦楽楽器演奏、茶道、日本文化、生け花、郷土料理な ど ○学級活動・総合の事例 ・読み聞かせ、地域の伝統野菜、新井田川の学習、米作り、 黒森歌舞伎の歴史、大黒舞の指導、SDGs	
	当初予算額	536 千円	決算額	548 千円
	主な経費	謝礼（図書カード）		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	各学校でクラブ活動や総合学習等で講師を地域指導者にお 願いした際の謝礼を補助する(2000円/人・回) ○クラブ活動の事例 ・茶道、光丘掘り、水彩画、天狗舞・獅子舞、傘福づくり、習 字、邦楽楽器演奏、茶道、日本文化、生け花、郷土料理な ど ○学級活動・総合の事例 ・読み聞かせ、地域の伝統野菜、新井田川の学習、米作り、 黒森歌舞伎の歴史、大黒舞の指導、SDGs		各学校でクラブ活動や総合学習等で講師を地域指導者にお 願いした際の謝礼を補助する(2000円/人・回) ○クラブ活動の事例 ・茶道、光丘彫り、傘福づくり、習字、邦楽楽器演奏、茶道、 日本文化、郷土料理、染め物、凧づくり、絵手紙など ○学級活動・総合の事例 ・読み聞かせ、地域の伝統野菜、新井田川の学習、米作り、 黒森歌舞伎の歴史、大黒舞の指導、浜中獅子舞、飛澤神 社奴振り、大沢清流太鼓の指導	
	当初予算額	572 千円	決算見込額	550 千円
	主な経費	謝礼（図書カード）		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	各学校でクラブ活動や総合学習等で講師を地域指導者にお 願いした際の謝礼を補助する(2000円/人・回) ○クラブ活動の事例 ・茶道、光丘彫り、傘福づくり、習字、邦楽楽器演奏、茶道、 日本文化、郷土料理、染め物、凧づくり、絵手紙など ○学級活動・総合の事例 ・読み聞かせ、地域の伝統野菜、新井田川の学習、米作り、 黒森歌舞伎の歴史、大黒舞の指導、浜中獅子舞、飛澤神 社奴振り、大沢清流太鼓の指導			
	当初予算額	560 千円	決算見込額	千円
	主な経費	謝礼（図書カード）		

【社教】32ミライニ管理運営

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	ミライニ管理運営事業	担当課	教育委員会 社会教育課
	予算事業名	ミライニ管理運営事業		
事業概要		市民の多様な活動及び学習の場を創出し、市民の交流促進と中心市街地の活性化を図る。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☒ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☒ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	小中学校、地域の方々
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 株式会社図書館流通センター(指定管理/委託)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R6(1月時点)	R 7	R 8	R 9
(1)	人口 1 人当たりの図書館入館回数	回	—	5.2	-	増加させる		
(2)	ミライニ年間入館者数	人	—	496,573	400,000	400,000		
(3)	人口一人当たりの館外貸出冊数	冊	—	4.8	-	4.8		
(4)								
(5)								

【社教】32ミライニ管理運営

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	にぎわい創出に係るツールとして、アートにかかわる事業などミライニで実施する事業に支援できた。
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
	ミライニで行っている事業内容や文化政策課で行っている事業内容を双方で情報共有し、連携できる事業を模索していく。 (例 いいいろいろ展(文化政策課事業)の会場をミライニにするなど)	アートにかかわる事業など、文化政策課と連携することで、それぞれで行う事業に広がりを持たせることが課題。
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	・ミライニで行っている事業内容や文化政策課で行っている事業内容を双方で情報共有し、連携できる事業を模索していく。（昨年度から引き続き） ・要配慮者への対応を考える。	にぎわい創出に係るツールとして、アートにかかわる事業などミライニにおいても、関連事業として実施し、事業に支援できた。
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆課題
		図書館事業としての課題でもあるが、「誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備」について、広義でのバリアフリーに対する配慮が必要。
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

【社教】32ミライニ管理運営

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	酒田駅前交流拠点施設ミライニ及び図書館の管理運営（指定管理） ＜文化芸術関連事業抜粋＞ ○MIRAINI × Art（駅前アートイベント、音楽・ダンスイベント） ○MIRAINI withサポーター（おはなし会・ブックスタートサポーター養成ほか） ○MIRAINI workshop（多様なジャンルのワークショップ） ○MIRAINI 酒田発信（ミライニフォトコンテスト） ○図書館事業（土曜お話会ほか） ○観光案内所事業（観光案内、まち歩き体験） ○オリジナル事業（映画上映、団体・企業支援型イベント）		＜文化芸術関連事業抜粋＞ ・定期開催事業：土曜おはなし会（第1～3土曜日）、ブックスタート（3か月児健康診査時）、ミライニベビーハグ（第3水曜日） ・定例事業：ミライニステージ（5回、延べ712人参加）、ミライニシアター（8回、延べ336人参加） ・単独開催事業：SAKATART ミライニから始まる、アートな酒田【SAKATART アートパッチプロジェクト（215人参加）ほか、市内観光地を撮影したビジュアルポスターの市内各所展示・スタンプラリー等】、5/3 ミライニアート「墨と楽しみ触れ合おう」（14人参加）、5/5お絵描き水族館（110人参加）、写真家 斎藤政広氏 写真展、1/27はじめてのアートワークショップ「くしゃまる」（58人参加）ほか多数	
	当初予算額	312,617 千円	決算額	296,506 千円
	主な経費	指定管理委託料		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	酒田駅前交流拠点施設ミライニ及び図書館の管理運営（指定管理） ＜文化芸術関連事業抜粋＞ ○MIRAINI × Art（駅前アートイベント、音楽・ダンスイベント） ○MIRAINI withサポーター（おはなし会・ブックスタートサポーター養成ほか） ○MIRAINI workshop（多様なジャンルのワークショップ） ○MIRAINI 酒田発信（Instagram観光写真公募ほか） ○図書館事業（土曜お話会ほか） ○観光案内所事業（観光案内、まち歩き体験ほか） ○オリジナル事業（映画上映、団体・企業支援型イベントほか）		酒田駅前交流拠点施設ミライニ及び図書館の管理運営（指定管理） ＜文化芸術関連事業抜粋＞ ○MIRAINI × Art（駅前アートイベント、音楽・ダンスイベント） ○MIRAINI withサポーター（おはなし会、ブックスタートサポーター養成ほか） ○MIRAINI workshop（多様なジャンルのワークショップ） ○MIRAINI 酒田発信（Instagram観光写真公募ほか） ○図書館事業（土曜お話会ほか） ○観光案内所事業（観光案内、まち歩き体験ほか） ○オリジナル事業（映画上映、団体・企業支援型イベントほか）	
	当初予算額	307,580 千円	決算見込額	301,202 千円
	主な経費	指定管理委託料		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	酒田駅前交流拠点施設ミライニ及び図書館の管理運営（指定管理） ＜文化芸術関連事業抜粋＞ ○MIRAINI × Art（駅前アートイベント、音楽・ダンスイベント） ○MIRAINI withサポーター（おはなし会・ブックスタートサポーター養成ほか） ○MIRAINI workshop（多様なジャンルのワークショップ） ○MIRAINI 酒田発信（Instagram観光写真公募ほか） ○図書館事業（土曜お話会ほか） ○観光案内所事業（観光案内、まち歩き体験ほか） ○オリジナル事業（映画上映、団体・企業支援型イベントほか）			
	当初予算額	310,088 千円	決算見込額	千円
	主な経費	指定管理委託料、燃料費及び光熱水費、借上料ほか		

33文化施設長寿命化

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	文化施設長寿命化事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	文化施設長寿命化事業		
事業概要		・老朽化した文化施設を改修する。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- ☒ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☒ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☐ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 設計事業者
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)								
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

33文化施設長寿命化

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	
		◆課題
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

33文化施設長寿命化

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	当初予算額	千円	決算	千円
	主な経費			
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	当初予算額	千円	決算見込額	千円
	主な経費			
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・市美術館の令和8年度からの大規模改修に向けた設計業務を委託する。			
	当初予算額	25,070 千円	決算見込額	千円
	主な経費	委託料25,070千円		

34飛島ウミネコ繁殖地再生

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	飛島ウミネコ繁殖地再生事業	担当課	文化政策課
	予算事業名	飛島ウミネコ繁殖地再生事業		
事業概要		・国指定天然記念物であるウミネコ繁殖地を再生するため、繁殖地機能喪失の要因調査や有識者による再生委員会を開催し、再生に向けた対策を検討・実施する。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備
- ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備
- ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実
- ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成
- ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成
- ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開
- ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
- ☐ ⑧文化芸術による国際交流
- ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置
- ☐ ⑩文化芸術による社会包摂
- ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
- ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり
- ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用
- ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
- ☐ ⑮文化施設の活用
- ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
- ☒ ⑰観光との連携
- ☐ ⑱産業との連携
- ☐ ⑲組織体制の強化
- ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	飛島ウミネコ繁殖地再生委員会
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 再生委員会(報酬)、築川堅治氏 (日本野鳥の会、謝金)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	ウミネコモニタリング調査による館岩におけるウミネコの営巣数	個	－	－	－			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

34飛島ウミネコ繁殖地再生

6 基本的施策に対する評価・課題

令和5年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
	—	◆課題
令和6年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和7年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和8年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題
令和9年度	◆課題を受け、工夫したいこと（両課協議）	◆評価
		◆課題

34飛島ウミネコ繁殖地再生

7 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	当初予算額	千円	決算	千円
	主な経費			
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	当初予算額	千円	決算見込額	千円
	主な経費			
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	・飛島ウミネコ繁殖地再生委員会を開催。 ・再生策実施後の効果検証の比較データとするため、ウミネコモニタリング調査を実施し、ウミネコの各種データ（個体数、巣数・密度、繁殖成功率）を収集する。 ・繁殖機能喪失の要因のひとつと考えられているネコによる捕食に関して、ネコの行動範囲と実態を明らかにするため、10か所にカメラを設置して調査を行う。			
	当初予算額	2,217 千円	決算見込額	千円
	主な経費	委託料1,727千円、謝金124千円、費用弁償151千円ほか		

【都市デ】2景観づくり

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	景観形成重点地域の景観づくり	担当課	都市デザイン課
	予算事業名	景観づくり事業		
事業概要		酒田市景観計画に基づき景観づくりを推進するとともに、市民・事業者・行政の協働で花と緑があふれたまちづくりに取り組むもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|--|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☒ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☒ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

	単位	実績			目標		
		R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)							
(2)							
(3)							
(4)							
(5)							

【都市デ】2景観づくり

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	(1)良好な景観形成への誘導 (2)「景観形成重点地域」の景観づくり推進（山居倉庫周辺地区、松山歴史公園周辺地区、日和山周辺地区） (3)屋外広告物指導員を委嘱することによる、屋外広告物事務の円滑な運用 (4)フラワーバスケット設置の普及促進 ・市民との協働によるフラワーバスケットの作成・設置（ミライニ広場） ・事業所との協働によるフラワーバスケットの作成・設置（花苗代の半額を事業所で負担） (5)既存プランターの再整備による中町モールの美化推進		(1)良好な景観形成への誘導 (2)「景観形成重点地域」の景観づくり推進 ・景観条例第5条に基づく届出受理件数（民間）35件 ＜内訳＞ 重点地域外の行為における届出 29件 （建築物6件、工作物10件、開発1件、土石採取6件、物件の堆積5件、土地の形質の変更1件） 重点地域内の行為における届出 6件（建築物6件） ・景観条例第9条に基づく通知受理件数（国等） 1件	
	当初予算額	3,943 千円	決算	3,334 千円
	主な経費	報酬、職員手当等、共済費		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①景観条例に基づく届出制度の活用 ②屋外広告物の設置許可、違反広告物の調査・指導 ③スタンディングフラワーバスケットの作成・設置（ミライニ広場および協力事業所等への設置） 【特定財源】（県）市町村総合交付金（屋外広告物事務）982千円、屋外広告物許可申請手数料 258千円		①景観条例に基づく届出制度の活用 ・景観条例第5条に基づく届出受理件数…20件 ②屋外広告物の設置許可、違反広告物の調査・指導 ③スタンディングフラワーバスケットの作成・設置（ミライニ広場および協力事業所等への設置） ・作成基数…18基 ・設置箇所数…4箇所	
	当初予算額	4,458 千円	決算見込額	4,000 千円
	主な経費	報酬、職員手当等、共済費		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①良好な景観形成の推進、誘導 ②屋外広告物事務の円滑な運用 ③スタンディングフラワーバスケットの作成・設置、中町モールプランターの整備 ・高校生、企業等との協働によるスタンディングフラワーバスケットの作成・設置 ・市役所本庁舎でのスタンディングフラワーバスケットの作成・設置 ・中町モールプランターの整備			
	当初予算額	4,444 千円	決算見込額	千円
	主な経費	報酬1,959千円、諸手当729千円、一般役務費712千円ほか		

【交流】3客船受入

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	客船受入事業	担当課	交流観光課
	予算事業名	客船受入事業		
事業概要		酒田港に寄港するクルーズ船の乗客を歓迎し、寄港する客船増を図るとともに、ファン及びリピーターを増加を図るもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☒ ⑰観光との連携 |
| ☒ ⑧文化芸術による国際交流 | ☒ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	山形県、酒田市観光ガイド協会、観光ボランティア、酒田交流おもてなし市民会議
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 山形県、酒田市観光ガイド協会、観光ボランティア(VIPS)、酒田交流おもてなし市民会議、地域通訳案内士
4 主な受益者	1.全ての市民(特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳(3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他(クルーズ船乗客、乗組員)

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	臨時観光案内所の設置率	%	—	100	100			
(2)	観光施設入込数	万人	237.5	258.8	255.5			
(3)								
(4)								
(5)								

【交流】3客船受入

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	(1) 外国クルーズ船寄港時歓迎 ・酒田港北港岸壁、街中での観光案内の実施 ・観光案内所の設置、通訳ボランティアの設置、各所への観光案内ボランティアの設置 (2) 邦船クルーズ船寄港時歓迎 ・酒田港北港岸壁での歓迎 観光案内所の設置（庄内総合支庁との連携）、特産品PR販売、ブースの設置、大獅子の設置 ・街中での観光案内の実施 観光案内所の設置 ○令和5年度クルーズ船寄港 見込み※・外国クルーズ船6回、国内クルーズ船1回		(1) 外国クルーズ船寄港時歓迎 ・実績 4/6 シルバー・ミュージ【初寄港】 4/13 ル・ソレアル【初寄港】 4/14 ダイヤモンド・プリンセス 4/20 シルバー・ミュージ 11/3 ダイヤモンド・プリンセス 11/21 ダイヤモンド・プリンセス ・中町におけるクルーズマーケットの実施 4/14 ダイヤモンドプリンセス (2) 邦船クルーズ船寄港時歓迎 邦船の寄港実績なし	
	当初予算額	1,317 千円	決算額	1,232 千円
	主な経費	地域通訳案内士・通訳ボランティアに係る謝礼		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①クルーズ船乗客へのおもてなし ・外国船7回と邦船1回に係る経費 ・通訳（観光案内所、観光施設）、観光ガイド（観光案内所、観光施設）、地域通訳案内士（観光案内所）、公益大おもてなし隊（ふ頭）に対する、外国船7回分、邦船1回分の謝礼 ・観光用自転車の埠頭への搬送		(1) 外国クルーズ船寄港時歓迎 ・実績 4/8 ウエステルダム【初寄港】 4/10 ダイヤモンド・プリンセス 4/11 ル・ソレアル 4/22 ウエステルダム 5/27 ル・ソレアル 5/28 ダイヤモンド・プリンセス 10/5 MSCベリッシマ【初寄港】 ・中町におけるクルーズマーケットの実施 4/8 ウエステルダム 4/10 ダイヤモンド・プリンセス 4/22 ウエステルダム 5/28 ダイヤモンド・プリンセス (2) 邦船クルーズ船寄港時歓迎 5/2 にっぽん丸	
	当初予算額	2,876 千円	決算見込額	1,613 千円
	主な経費	地域通訳案内士・通訳ボランティアに係る謝礼		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①クルーズ船乗客へのおもてなし ・外国船7回、邦船1回に係る経費 ・通訳（観光案内所、観光施設）、観光ガイド（観光案内所、観光施設）、地域通訳案内士（観光案内所）に対する、外国船7回分、邦船1回分の謝礼 ・観光用自転車の搬送手数料等			
	当初予算額	2,976 千円	決算見込額	千円
	主な経費	地域通訳案内士・通訳ボランティアに係る報償金2,784千円ほか		

【交流】4北前船日本遺産

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	各団体への負担金	担 当 課	交流観光課
	予算事業名	秋田・酒田交流事業（～R5） 北前船日本遺産推進事業（R6） 北前船日本遺産市民おもてなし交流事業（R7～）		
事業概要		地域の活性化のため、北前船関連各協議会の連携を強化し、関係各都市との交流を促進するもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☒ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☒ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	秋田・酒田交流事業実行委員会
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 秋田・酒田交流事業実行委員会(負担金)、北前船日本遺産推進協議会(負担金)、酒田市日本遺産推進協議会(負担金)
4 主な受益者	1.全ての市民(特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳(3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	構成文化財の入込数(市全体)	人	520,907	564,271	532,797			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

【交流】4北前船日本遺産

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	(1) 秋田・酒田交流事業実行委員会負担金(1,200千円) ・親子で楽しむ体験支援 マイクロリズム促進の一環として、秋田市の観光資源である大森山動物園を本市の小学生以下の親子が利用する際の入園料を支援する。 また、同園で両市の親子の交流の機会を設けることにより、交流の促進を図る。 ・文化交流事業 イベントの開催に合わせ、あきた舞妓と酒田舞娘とのコラボや、秋田市と酒田市のブースを出展し、物販や観光PR等を行う。		(1) 秋田・酒田交流事業実行委員会負担金 ・親子で楽しむ体験支援 本市在住でマイナンバーカードを所持している（交付申請中を含む）、小学生以下の子どもがいる保護者に対し、秋田市大森山動物園の年間パスポートと引き換えることができる引換券を1世帯につき2枚まで発行。期間：5/1（月）～2/25（日）、申請枚数：673枚、引換実績：444枚 ・文化交流事業 5/27（土）～28（日）「これが秋田だ！食と芸能大祭典2023」のステージイベントであきた舞妓と酒田舞娘の踊りを披露したほか、秋田市と酒田市合同の交流事業ブースを設置し、北前船ノベルティーの配布や北前船文化のPR等を行った。イベント来場者総数は約10万人。	
	当初予算額	1,200 千円	決算額	570 千円
	主な経費	各団体への負担金		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①秋田・酒田交流事業実行委員会負担金 1,200千円 両市民がお互いの市を巡る1泊2日の市民交流バスツアーを実施。両市の北前船日本遺産構成文化財や関連する施設を巡り、文化交流を行ったり、寄港地の歴史を学んだりする。 ②北前船日本遺産推進協議会負担金 500千円 北前船寄港地に係る(i)情報発信および交流人口の拡大、(ii)歴史文化の環境整備、(iii)人材育成、(iv)都市連携の強化など。 全体事業としては物販と情報発信、人材育成、オンラインセミナーなど。ブロック事業として、東北新潟ブロックではブロック内の交流人口増加のための策として、全体でのカードラリーなど。 ③酒田市日本遺産推進協議会負担金 1,007千円 「北前船日本遺産推進協議会」の全体事業の一部実施、市単独もしくは近隣構成自治体やブロック内の交流などの事業を行う。ラッピングバス（るんるんバス）やクラフトフェア会場でのパネル展示、酒田雑街道での日本遺産活用、鶴岡市とのコラボ企画など。		①秋田・酒田交流事業実行委員会負担金 1,200千円 ・1/18、2/8 S A K Eと発酵市in秋田市への参加 酒田小売酒販組合が出店した。市のパンフレットや北前船日本遺産構成文化財の1つである雑街道イベント「雑街道」のチラシを配布しPRを実施。 ・1/26酒田日本海寒鰯まつりへの参加 秋田醸しまつり実行委員会が出店した。秋田市がパンフレットやチラシを配布。 ②北前船日本遺産推進協議会負担金 情報発信事業（北前船日本遺産推進協議会ポータルサイトの運営など）、旅行商品造成、全国一斉オンラインセミナー（全4回）、オンライン交流会の開催、物販事業（ECサイト運営）、日本遺産フェスティバル（京都）への参加・会場でパンフレット配布、その他ブロック予算の配分によるブロック単位での活動（東北新潟ブロックではロールアップパナの展示）など ◆全国協議会事業は、事務局であるANA総合研究所において集中的に実施。 ③酒田市日本遺産推進協議会負担金 酒田市日本遺産推進協議会 ・日本遺産のまちあるき研修会の開催（全3回）の開催。 ・鶴岡市への相互誘客のための日本遺産ツアー開催（バス会社企画運行の商品への一部助成による造成促進4本） ・雑街道事業における日本遺産構成施設PR ・日本遺産の周知と飲食店の回遊を目的とした食イベントの開催（2/1～2/28参加店舗12店）	
	当初予算額	2,707 千円	決算見込額	2,707 千円
	主な経費	各団体への負担金		

【交流】4北前船日本遺産

令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①秋田・酒田交流事業実行委員会負担金 0千円 両市民がお互いの市を巡る1泊2日の市民交流バスツアーを実施。両市の北前船日本遺産構成文化財や関連する施設を巡り、文化交流を行ったり、寄港地の歴史を学んだりする。 ②北前船日本遺産推進協議会負担金 500千円 北前船寄港地に係る(i)情報発信および交流人口の拡大、(ii)歴史文化の環境整備、(iii)人材育成、(iv)都市連携の強化など。 全体事業としては物販と情報発信、人材育成、オンラインセミナーなど。ブロック事業として、東北新潟ブロックではブロック内の交流人口増加のための策として、相互情報発信など。 ③酒田市日本遺産推進協議会負担金 806千円 「北前船日本遺産推進協議会」の全体事業の一部実施、市単独もしくは近隣構成自治体やブロック内の交流などの事業を行う。ラッピングバス（るんるんバス）や日本遺産のまちあるき研修会の開催、酒田雛街道での日本遺産活用、鶴岡市とのコラボ企画など。			
	当初予算額	2,017 千円	決算見込額	千円
	主な経費	酒田市日本遺産推進協議会負担金806千円、酒田おもてなし市民会議負担金711千円、北前船日本遺産推進協議会負担金500千円		

【交流】5観光戦略

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	観光戦略推進事業	担当課	交流観光課
	予算事業名	観光戦略推進事業		
事業概要		酒田ファンを増やし、観光誘客につなげるため、酒田市中長期観光戦略に基づく各種施策を展開するもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・ ・ 該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☒ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☒ ⑰観光との連携 |
| ☒ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	観光事業者、国、市民
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 酒田DMO(負担金)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合 :) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	エージェント等訪問回数	回	0	14	15			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

【交流】5観光戦略

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	酒田市中長期観光戦略に基づき、酒田における3つの「強み」である、①農産物や海産物など豊富な食材の宝庫、②酒田舞娘をはじめとした歴史文化、③烏海山・飛島ジオパークなど豊かな自然環境を「酒田自慢」として広めることで「酒田ファン」を増やし誘客の促進を図っていく。 (1) 酒田DMO負担金（デジタル田園都市国家構想交付金事業）41,686千円 ・酒田DMOの運営支援、アドベンチャーツーリズムの企画開発、酒田の美酒美食ツーリズムの推進、さかた観光交流マスターの活用、インバウンド対応のためのプロモーション活動、地域観光事業者との連携 (2) 地域活性化起業人負担金 27,400千円 総務省の企業人材派遣制度を活用、民間企業から社員を受入れ、酒田DMOの機能を強化し事業内容の充実や円滑な事業実施を図る。 (3) 観光動向調査 583千円 (4) 英語版観光ウェブサイト経費等 214千円		(1) 酒田DMO負担金 ・酒田DMOの運営支援(人件費ほか運営経費、エージェント訪問等旅費) プロパー2名、酒田市派遣2名、地域活性化起業人活用2名、エージェント訪問件数（オンライン除く）48件 ・アドベンチャーツーリズムの企画開発(観光庁補助事業活用体験コンテンツ造成) 日本文化体験ツアー（松山能、砲術隊、酒田舞娘）、酒田舞娘スタディ事業（着付け体験と踊り体験、雪山体験、古民家体験） ・酒田の美酒美食ツーリズムの推進 コラボランチ（酒田、東京）、寿司デビュー、台中での酒田フェア、酒の酒田の酒まつり ・さかた観光交流マスターの活用（湊町文化の保存継承）観光プロモーション派遣（台湾台中、仙台）、イベント派遣（イカ釣り船団出航式、伝統芸能イベント）、視察対応、観光プロモーション動画、学校等への出前授業（8か所）、観光キャンペーンノベルティ制作 ・インバウンド対応のためのプロモーション活動 台中プロモーション（国際旅展出展、旅行業組合でのプロモーション、裕毛屋での酒田フェア（物販、舞娘）、学校訪問）、エージェント訪問（再掲） オンライン含む件数 57件 ・地域観光事業者との連携(イベントでの物産販売、物産展等の調整、輸出案件) 6/27酒田の観光戦略勉強会、12/1観光関係者座談会、ガイド協会とのワークショップ、八幡地域とのワークショップ、日和山クラフト・アートフェア、日和山台町ライトアップ	
	当初予算額	69,883 千円	決算額	59,668 千円
	主な経費	酒田DMO運営費補助金		

【交流】5観光戦略

令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①酒田DMO運営補助金 38,973千円 ・酒田DMOの運営支援 ・アドベンチャーツーリズムの企画開発 ・酒田の美酒美食ツーリズムの推進 ・さかた観光交流マイスターの活用 ・インバウンド対応のためのプロモーション活動 ・地域観光事業者との連携 ・観光動向調査 ②地域活性化起業人負担金 16,800千円 ・総務省の企業人材派遣制度を活用し、民間企業から社員を受け入れ、酒田DMOの機能を強化 ③英語版観光ウェブサイト経費など 【特定財源】さかた応援基金繰入金 15,000千円		(1) 酒田DMO負担金 ・酒田DMOの運営支援(人件費ほか運営経費、エージェント訪問等旅費) プロパー2名、酒田市派遣2名、地域活性化起業人活用2名、エージェント訪問件数(オンライン除く) 15件 ・アドベンチャーツーリズムの販売営業 ・酒田の美酒美食ツーリズムの推進 コラボランチ(東京三越伊勢丹・東京平河町)、酒の酒田の酒まつり ・さかた観光交流マイスターの活用(湊町文化の保存継承) 観光プロモーション派遣(台湾台中)、イベント派遣(クルーズ船入港時)、学校等への出前授業、 ・インバウンド対応のためのプロモーション活動 台中プロモーション(国際旅展出展、旅行業組合でのプロモーション、裕毛屋での酒田フェア(物販、舞娘)、学校訪問)、羽越本線プロモーション動画作成。、台湾教育旅行受け入れ(10/15～19台中烏日中学16名)、台中市と酒田市の観光協定締結10/25 ・地域観光事業者との連携(11/5首都圏バイヤーとの試食商談会開催、バイヤー9社・市内事業者9社) 観光関係者情報交換会7/9・12/24、酒田の観光戦略勉強会3/17	
	当初予算額	56,521 千円	決算見込額	51,785 千円
	主な経費	酒田DMO運営費補助金		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①総務省外部専門家の招請896千円 ②酒田DMO運営補助金 41,037千円 ・酒田DMOの運営支援 ・アドベンチャーツーリズムの企画開発 ・酒田の美酒美食ツーリズムの推進 ・さかた観光交流マイスターの活用 ・インバウンド対応のためのプロモーション活動 ・地域観光事業者との連携 ・人流データの収集と分析 ・JR(羽越本線・陸羽西線)の利用促進 ③地域活性化起業人負担金 13,800千円 ・総務省の企業人材派遣制度を活用し、民間企業から社員を受け入れ、酒田DMOの機能を強化 ④公益文科大学と連携した観光動向調査713千円 ⑤英語版観光ウェブサイト経費など179千円 【特定財源】さかた応援基金繰入金 15,000千円			
	当初予算額	56,625 千円	決算見込額	千円
	主な経費	酒田DMO運営費補助金41,037千円、地域活性化起業人負担金13,800千円ほか		

【交流】6交流観光

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

☒ 継続 ☐ 新規	事務事業名	各団体への負担金等	担当課	交流観光課
	予算事業名	交流観光推進事業		
事業概要		交流観光事業全般に係る経常経費、関連団体等への負担金・補助金など		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☒ ⑰観光との連携 |
| ☒ ⑧文化芸術による国際交流 | ☒ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	各団体
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) ☒ 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	☒ 1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

	単位	実績			目標		
		R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)							
(2)							
(3)							
(4)							
(5)							

【交流】6交流観光

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	酒田観光物産協会負担金4,493千円 山形県観光物産協会負担金171千円 鳥海国定公園観光開発協議会負担金759千円 山形県自然公園等保全整備促進協議会負担金11千円 山形の観光と物産展実行委員会負担金459千円 やまがたインバウンド協議会負担金150千円 やまがた観光キャンペーン推進協議会負担金1,656千円 寒鱈まつり実行委員会負担金1,000千円 山形県沿岸域総合利用推進協議会負担金319千円 北前船日本遺産推進協議会負担金500千円 酒田市日本遺産推進協議会負担金1,007千円 山形県タイ友好協会負担金10千円 荘内酒井歴史文化振興会会費20千円 庄内観光コンベンション協会負担金4,873千円 日本海きらきら羽越観光圏推進協議会負担金3,474千円 地域連携研究所会費300千円 陸羽東西線利用推進協議会負担金36千円 酒田のまつり実行委員会負担金32,923千円 酒田ばやし保存会運営費補助金119千円		・寒鱈まつり 開催日／1月28日（日）、場所／中通り商店街、中町モール、ミライニ、海鮮市場など、集客数／1万人、開催内容／寒鱈汁の1杯800円での販売、酒田のラーメンの販売、抽選会などの実施 ・北前船日本遺産推進協議会負担金 情報発信事業（北前船日本遺産推進協議会ポータルサイトの運営など）、旅行商品造成、全国一斉オンラインセミナー（8/9。本市は募集過小のため実施せず）、交流会の開催、物販事業（北前船ブランドショップ事業。ECサイトを12月にオープン）、物産プロモーション事業の実施、日本遺産フェスティバル（八王子）への参加・会場での物販（230,000円）、その他ブロック予算の配分によるブロック単位での活動（東北新潟ブロックではロールアップバナの作成）など ◆全国協議会事業は、事務局であるANA総合研究所において集中的に実施。 ・酒田市日本遺産推進協議会負担金 酒田市日本遺産推進協議会 パンフレット印刷、雑街道事業における日本遺産ブランドの活用・PR（ポスター、チラシ、WEB媒体等へのロゴ掲出）、日和山クラフトフェア会場における日本遺産パネル展示の実施、カードラリー用カードの印刷・補充（雑巡り施設を中心に増刷）、鶴岡市と共同での旅行商品造成（バス会社企画運行の商品への一部助成による造成促進策）など	
	当初予算額	52,280 千円	決算額	74,225 千円
	主な経費	各団体への負担金・補助金		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	酒田観光物産協会負担金4,493千円 山形県観光物産協会負担金173千円 鳥海国定公園観光開発協議会負担金759千円 山形県自然公園等保全整備促進協議会負担金11千円 山形の観光と物産展実行委員会負担金459千円 やまがたインバウンド協議会負担金150千円 やまがた観光キャンペーン推進協議会負担金1,656千円 寒鱈まつり実行委員会負担金1,000千円 山形県沿岸域総合利用推進協議会負担金319千円 山形県タイ友好協会負担金10千円 荘内酒井歴史文化振興会会費20千円 庄内観光コンベンション協会負担金4,873千円 日本海きらきら羽越観光圏推進協議会負担金3,474千円 地域連携研究所会費100千円 陸羽東西線利用推進協議会負担金36千円 酒田のまつり実行委員会負担金38,923千円 酒田交流おもてなし市民会議負担金880千円 酒田ばやし保存会運営費補助金119千円		令和6年度より北前船日本遺産推進協議会負担金、酒田市日本遺産推進協議会負担金を秋田・酒田交流事業に統一。 北前船日本遺産推進事業として実施。	
	当初予算額	63,277 千円	決算見込額	61,961 千円
	主な経費	各団体への負担金・補助金		

【交流】6交流観光

令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	酒田観光物産協会負担金9,829千円 山形県観光物産協会負担金178千円 山形県自然公園等保全整備促進協議会負担金11千円 山形の観光と物産展実行委員会負担金458千円 やまがたインバウンド協議会負担金150千円 やまがた観光キャンペーン推進協議会負担金1,647千円 山形県沿岸域総合利用推進協議会負担金319千円 山形県タイ友好協会負担金10千円 荘内酒井歴史文化振興会会費20千円 庄内観光コンベンション協会負担金4,873千円 日本海きらきら羽越観光圏推進協議会負担金3,474千円 地域連携研究所会費100千円 陸羽東西線利用推進協議会負担金36千円 橋田寿賀子誕生100周年実行委員会負担金500千円 酒田ばやし保存会運営費補助金119千円			
	当初予算額	31,836 千円	決算見込額	千円
	主な経費	各団体への負担金・補助金（内容は上記のとおり）		

【交流】7鳥海山・飛島ジオ

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	鳥海山・飛島ジオパーク推進事業	担当 課	交流観光課
	予算事業名	鳥海山・飛島ジオパーク推進事業		
事業概要		持続可能な地域づくりを推進するため、鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会と連携し、地域住民が主体となった体験メニューの提供や自然体験学習、お土産品開発など鳥海山・飛島ジオパークを活用する。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・ ・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☒ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☒ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会、鳥海山・飛島ジオパークジオガイドの会
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合 :) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	ジオパーク参加者旅行支出額(日帰り)	万円	319	491	492			
(2)	市内小中学校の総合的な学習の時間へのジオガイド派遣回数	回	33	36	38			
(3)								
(4)								
(5)								

【交流】 7鳥海山・飛島シオ

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	☐ 報償費150 ジオガイド養成講座・セミナー講師謝金 ☐ 旅費872 費弁634 ガイド養成講座参加者渡航費用等 普旅238 全国大会参加旅費(関東地区)他 ☐ 需用費381 食糧32 ボランティア時昼食、全国大会時 修繕282 看板修繕等 燃料12 ボランティア時草刈機燃料代 消耗55 展示会イベント実施時消耗品等 ☐ 役務費 354 保険3 ボランティア障害保険25人分 通運3 飛島資材運搬費 広告264 るんるんバスラッピング代 手数84 ジオルート点検、看板デザイン等 ☐ 負担金 16,115 ジオパーク推進協議会負担金		ジオパークポロシャツキャンペーン54着(4/4～14) 船上ガイドキャンペーン(定期航路事業所事業)(4/26～8/12) トビシマカンゾウ保全ボランティア(6/17～18) 光ヶ丘地区環境美化ボランティア(6/24, 9/23) 出前講座(調理師専門学校)(6/26) ジオガイド養成講座.計5回(酒田飛島エリア)(7/8～10/14) Save the クロマツ 2023(7/6) みなとオアシスマつりジオブース出展(9/3) トビシマカンゾウ保全作業(9/16～17) 出前講座(上安町自治会、48区老友会)(10/18,25) 生涯学習まつり・コミセンまつり(松原・浜田)ジオブース出展(10/14,21,22) 砂防林保全ボランティア参加(11/11) 世界ジオパーク拠点施設視察(白山手取川)(11/14～16)	
	当初予算額	17,872 千円	決算額	16,998 千円
	主な経費	トビシマカンゾウ保全ボランティア、ジオパーク看板修繕、ジオガイド養成講座、イベントへのジオブース出展		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた活動 ・住民の機運醸成のためのシンポジウムや出前講座の開催 ・受け入れ体制強化のためのガイド養成やインフォメーション機能の充実 ②環境保全活動・教育活動や地域振興にジオパークを活用できる組織づくり ③地域住民が自ら主体となって活動できる環境整備 【特定財源】鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会自治体支援事業助成金 400千円ほか		・ジオパークポロシャツキャンペーン126着 ・船上ガイド(定期航路事業所事業)(4/26～8/12) ・光ヶ丘整備ボランティア(6/22) ・トビシマカンゾウ保全ボランティア(6/22,9/14) ・ジオガイド養成講座計5回(6/15～11/9) ・Save the クロマツ 2024(7/18) ・出前講座(調理師専門学校、コミュニティ振興会職員研修会、酒田南高等学校、酒田第六中学校 ほか) ・こどもまつり・生涯学習まつり・コミセンまつり(浜田)ジオブース出展(5/5,10/19,10/20) ・親子向けジオパーク周知イベント「ジオってもしえのん」(10/20) ・職員向けジオパーク研修(11/25) ・ミライニジオパーク周知展示(10/16～11/1) ・ジオパークフリースキャンペーン152着 ・るんるんバスジオパークラッピング ・ジオルート点検	
	当初予算額	17,991 千円	決算見込額	17,340 千円
	主な経費	鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会負担金		

【交流】 7鳥海山・飛島ジオ

令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①ツーリズム受け入れ体制強化のためのガイド養成 ・ジオガイド養成講座の実施 ②住民の機運醸成のための広報活動 ・各種イベントへのブース出展 ・るんるんバス広告 ③環境保全活動 ・トビシマカンゾウ保全作業等の実施 ④ジオサイト等の環境整備 ・ジオパーク看板整備 ・ジオルート点検 ⑤鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会負担金 【特定財源】（県）鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会自治体支援事業助成金 400千円 ほか			
	当初予算額	17,355 千円	決算見込額	千円
	主な経費	鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会負担金16,115千円、環境保全活動434千円、住民の機運醸成のための広報活動 374千円 ほか		

【共生】8国際交流

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	国際交流協会負担金 酒田地区日中友好協会負担金	担当課	～ R 5交流観光課 R 6～共生社会課
	予算事業名	国際交流推進事業（～R6） 多文化共生推進事業（R7～）		
事業概要		市民の国際交流を推進するもの。 姉妹都市/ロシア連邦ジェレズノゴルスク・イリムスキー市、アメリカ合衆国デラウェア市、 友好都市/中国唐山市 交流都市/ロシア連邦サンクトペテルブルク市		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☒ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☒ ⑰観光との連携 |
| ☒ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	酒田市国際交流協会、酒田地区日中友好協会
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	国際交流協会主催のイベント回数	回	5	5	4			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

【共生】8国際交流

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①国際交流協会 ・会員へ国際交流活動などの発信 ・英語での通訳ガイドの養成 クルーズ船寄港に備えた観光客対応のための研修 ・インターナショナル・トークカフェ（年に4回程度） 講師が自国の文化などを紹介し、世界各国の取り組みを学ぶ ・SAKATA PR動画コンテスト 酒田の魅力を英語で紹介する動画の募集、事前学習会の実施、コンテスト形式での表彰 ・ニュージーランドとの交流 共生社会などについて学ぶ講座の実施、ジオパークに関する情報交換 ②酒田地区日中友好協会 ・総会懇親会		①国際交流協会 ・Newsletter（メールの配信） 18回 ・ダイヤモンド・プリンセス説明会・北庄内地域通訳案内士研修 11月寄港のクルーズ船対応に備えるため、観光施設の概要や4月寄港時の経験談、通訳案内の向上について学ぶ ・インターナショナル・トークカフェ 3回 ・SAKATA PR動画コンテスト 参加者のべ80人 16作品（生徒部門14作品、一般部門2作品）の応募があり、うち6作品が受賞 ・ニュージーランド共生社会講座 参加者のべ26人 東北公益文科大学の教授より講座、学生より研究の中間発表を実施 ②酒田地区日中友好協会 ・総会懇親会	
	当初予算額	20 千円	決算額	20 千円
	主な経費	国際交流協会負担金、酒田地区日中友好協会負担金		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①国際交流協会 ・会員へ国際交流活動などの発信 ・インターナショナル講座（年に3回程度） 国際的な文化などを学び、交流する ・SAKATA PR動画コンテスト 酒田の魅力を英語で紹介する動画の募集、コンテスト形式で表彰 ・ニュージーランドとの交流 共生社会などについて学ぶ講座の実施、東北公益文科大学へ「交流」に係る調査研究の委託 ・在住外国人との交流・支援 ②酒田地区日中友好協会 ・総会懇親会		①国際交流協会 ・Newsletter（メールの配信） 12回 ・インターナショナル講座 3回 ・SAKATA PR動画コンテスト 参加者72人 31作品（生徒部門17作品、一般部門14作品）の応募があり、うち7作品が受賞 ・国際理解講座 1回 参加者15名 ・酒田市国際交流サロンと連携した在住外国人との交流・支援 ②酒田地区日中友好協会 ・総会懇親会	
	当初予算額	436 千円	決算見込額	436 千円
	主な経費	国際交流協会負担金、酒田地区日中友好協会負担金		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①国際交流協会 ・会員へ国際交流活動などの発信 ・インターナショナル講座（年に3回程度） 国際的な文化などを学び、交流する ・SAKATA PR動画コンテスト 酒田の魅力を英語で紹介する動画の募集、コンテスト形式で表彰 ・在住外国人との交流・支援 ②酒田地区日中友好協会 ・総会懇親会 ③友好・姉妹都市との交流			
	当初予算額	5,624 千円	決算見込額	千円
	主な経費	海外旅費3,208千円、国際交流協会負担金416千円、酒田日中友好協会負担金20千円ほか		

【交流】9国内都市

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	武蔵野市交流市町村協議会負担金	担当課	交流観光課
	予算事業名	北区・武蔵野市交流事業（～R5） 国内都市交流事業（R6～）		
事業概要		国内の友好都市等との交流を行うもの。 東京都北区、東京都武蔵野市 三重県南伊勢町 R 5.8.4協定 岩手県平泉町 R 5.6.29協定		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☒ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☒ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	武蔵野市交流市町村協議会
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 武蔵野市交流市町村協議会(協力)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6(2月時点)	R 7	R 8	R 9
(1)	武蔵野市民ツアー受入人数【隔年】	人	20	—	20			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

【交流】9国内都市

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	武蔵野市との交流 ①武蔵野桜まつりでの本市PR ②武蔵野市交流市町村協議会負担金100千円 ・武蔵野市交流市町村協議会首長サミット（南砺市）の実施（市町村長及び議会議長の協議会（サミット）と職員研修会を毎年交互に開催） ・「ふるさと美しく」モデル事業 武蔵野市の各友好都市が行う「美しいふるさと風土」の保全と活用に関する事業等を選定・助成する。 ※予算額は北区・武蔵野交流事業全体のもの。		武蔵野市との交流 ①3/31 武蔵野桜まつりでの本市PR 武蔵野桜まつり実行委員会で、各友好都市の地酒を購入し、武蔵野市民に振る舞う。また、同委員会で、各友好都市の特産品を購入し、式典での抽選品として、市民向けにPRしながら配布する。 ②「ふるさと美しく」モデル事業 武蔵野市の友好都市の1つ、鳥取県岩美町の田後公園施設改修事業をモデル事業として選定。 ※決算額は北区・武蔵野交流事業全体のもの。	
	当初予算額	290 千円	決算額	290 千円
	主な経費	武蔵野市交流市町村協議会負担金		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	武蔵野市との交流 ①武蔵野桜まつりでの本市PR ②武蔵野市民交流ツアーの受入【隔年】 2泊3日、武蔵野市民20人を想定。バス移動経費についてのみ本市で補助する。 ③武蔵野市交流市町村協議会負担金100千円 ・武蔵野市交流市町村協議会職員研修会の実施（市町村長及び議会議長の協議会（サミット）と職員研修会を毎年交互に開催） ・「ふるさと美しく」モデル事業 武蔵野市の各友好都市が行う「美しいふるさと風土」の保全と活用に関する事業等を選定・助成する。 ※予算額は国内都市交流事業全体のもの。		武蔵野市との交流 ①3/30武蔵野桜まつりでの本市PR、市内業者出店予定 ②2/28-3/2予定武蔵野市民交流ツアーの受入予定【隔年】 ③武蔵野市交流市町村協議会主催事業 ・7/17-19武蔵野市交流市町村協議会職員研修会（新潟県長岡市）へ職員1名参加。研修テーマは「災害にも強い地域づくり」 ・「ふるさと美しく」モデル事業 武蔵野市の友好都市の1つ、富山県南砺市の森のようちえんプロジェクト事業（自然保育の森を整備する）をモデル事業として選定。 ※決算額は国内都市交流事業全体のもの。	
	当初予算額	760 千円	決算見込額	535 千円
	主な経費	武蔵野市交流市町村協議会負担金		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	武蔵野市との交流 ①武蔵野桜まつりでの本市PR ②武蔵野市民交流ツアーの受入【隔年】 2泊3日、武蔵野市民20人を想定。バス移動経費についてのみ本市で補助する。 ③武蔵野市交流市町村協議会負担金100千円 ・武蔵野市交流市町村協議会首長サミット（広島県大崎上島町）への参加（市町村長及び議会議長の協議会（サミット）と職員研修会を毎年交互に開催） ・「ふるさと美しく」モデル事業 武蔵野市の各友好都市が行う「美しいふるさと風土」の保全と活用に関する事業等を選定・助成する。 ※予算額は国内都市交流事業全体のもの。			
	当初予算額	760 千円	決算見込額	千円
	主な経費	武蔵野市交流市町村協議会負担金100千円		

【商工】10客船誘致

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	客船誘致事業	担当課	商工港湾課
	予算事業名	客船誘致事業		
事業概要		船社や旅行代理店等に対する客船誘致のプロモーション活動を実施し、客船受入活動を行うもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☒ ⑰観光との連携 |
| ☒ ⑧文化芸術による国際交流 | ☒ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	“プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会外航クルーズ船誘致部会、酒田港湾振興会
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) “プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会外航クルーズ船誘致部会(山形県観光復活推進課)、酒田港湾振興会(商工港湾課)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合：) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 クルーズ船乗客、乗組員

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	クルーズ船誘致活動回数	回	1	17	8	5	5	5
(2)	クルーズ船年間寄港回数	回	0	6	8	12	16	20
(3)								
(4)								
(5)								

【商工】10客船誘致

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	(1) 誘致 クルーズ船社等に対するプロモーション活動、視察対応 ・“プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会外航クルーズ船誘致部会により実施 ・クルーズ船社へのセールス活動、クルーズ商談会、クルーズ関連会議等への参加、動画による寄港地観光のPR (2) 受入 ふ頭の管理及び入港、出港イベントの実施 ・外国クルーズ船については“プロスパーポートさかた”ポートセールス協議会外航クルーズ船誘致部会、国内クルーズ船については酒田港湾振興会により実施 ・ふ頭の管理（受入に必要な設備の配置、管理）、クルーズ船受入協議会の実施（事務局（港湾管理者）の県に対する協力） ・本港地区入港へ向けた岸壁整備の要望、受入体制の構築、クルーズ船の入港、出港時のイベントの実施 ・ふ頭での出店の管理、ふ頭と市街地を往復するシャトルバスの運行（船社で実施しない場合）、クルーズ寄港へ向けた説明会、セミナー等の開催 ○令和5年度クルーズ船寄港見込み・外国クルーズ船 6回、国内クルーズ船 1回		・クルーズ船社等に対するプロモーション活動、視察対応実施内容 ①船社・代理店訪問等 11回 ②視察対応等 6回 次回寄港へ向けた意見交換や将来的な寄港実現に向けたポートセールス等の実施 ・令和5年度寄港実績 4/6 シルバー・ミューズ【初寄港】 4/13 ル・ソレアル【初寄港】 4/14 ダイヤモンド・プリンセス 4/20 シルバー・ミューズ 11/3 ダイヤモンド・プリンセス 11/21 ダイヤモンド・プリンセス	
	当初予算額	9,661 千円	決算額	9,128 千円
	主な経費	受入費用として、外国船7,200千円＋二次交通対策費として1,428千円 誘致費用として、外国船500千円		

【商工】10客船誘致

令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①クルーズ船社に対するプロモーション活動、視察対応 ②寄港時のふ頭管理、出入港イベントの実施 ・令和6年度クルーズ船寄港見込み 外航クルーズ船 7回、内航クルーズ船 1回		①クルーズ船社に対するプロモーション活動、視察対応 ②寄港時のふ頭管理、出入港イベントの実施 ・令和6年度クルーズ船寄港実績 外航クルーズ船 7回、内航クルーズ船 1回 4月 8日 ウエステルダム【初寄港】 4月10日 ダイヤモンド・プリンセス 4月11日 ル・ソレアル 4月22日 ウエステルダム 5月 2日 にっぽん丸 5月27日 ル・ソレアル 5月28日 ダイヤモンド・プリンセス 10月 5日 MSCベリッシマ【初寄港】	
	当初予算額	11,300 千円	決算見込額	10,714 千円
	主な経費	受入費用として、外国船8,400千円、邦船1,814千円 誘致費用として、外国船500千円		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①クルーズ船社に対するプロモーション活動、視察対応 ②寄港時のふ頭管理、出入港イベントの実施 ・令和7年度クルーズ船寄港見込み 外航クルーズ船 8回、内航クルーズ船 2回			
	当初予算額	10,220 千円	決算見込額	千円
	主な経費	受入費用として、外国船9,600千円、邦船120千円 誘致費用として、外国船500千円		

【共生】11市民交流

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	市民交流推進事業（～R6） 多文化共生推進事業（R7～）	担当課	～ R 5交流観光課 R 6～共生社会課
	予算事業名	市民交流推進事業（～R6） 多文化共生推進事業（R7～）		
事業概要		国際交流サロンにおいて、外国出身者の日常生活や日本語学習を支援するとともに、市民との交流事業を通じて異文化に対する相互理解を深める。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|---|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☒ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☒ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☒ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市、国際交流サロン企画運営委員会
2 関係団体等	日本語学習支援ボランティアべにばな会
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 国際交流サロン企画運営委員会（負担金） 日本語学習支援ボランティアべにばな会（委託）
4 主な受益者	1.全ての市民（特に力を入れている対象がある場合： 外国出身者） 2.対象が限定の場合 子ども～18歳（ 3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生 ） 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他（ ）

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	国際交流サロン利用者数	人	6,193	10,050	7,200			
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

【共生】11市民交流

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①外国出身者の支援 ●日本語学習支援 ●日本の文化を学習する講座 ②異文化交流 ●国際交流まつりin中町 ●トラベリングDAY ●ワールドクッキング ●外国出身者のための講座 ●甚句踊りパレード参加		①外国出身者の支援 ●日本語学習支援ボランティアによる日本語学習支援（通年実施） ●外国出身者のための講座（自転車のルール等） ②異文化交流イベント ●国際交流まつりin中町 ●トラベリングDAY（ケニア、モナコ、カナダ） ●ワールドクッキング（日本） ●甚句踊りパレード参加 ●ウェルカムパーティー	
	当初予算額	1,194 千円	決算額	1,089 千円
	主な経費	国際交流サロン企画運営委員会負担金、日本語学習支援事業実施委託料		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①日本語学習支援ボランティアと協力した日本語学習支援 ②異文化交流イベント・日本の文化を学習するための講座等の開催 ③多言語版生活ガイドの発行		①外国出身者の支援 ●日本語学習支援ボランティアによる日本語学習支援（通年実施） ●外国出身者のための料理教室（郷土料理）2/16 17名 ●外国出身者のための書道教室 ②異文化交流イベント ●国際交流まつりin中町 9/29 ●トラベリングDAY ドイツ 10/24 18名、カザフスタン ●外国料理教室（シリア） ●甚句踊りパレード参加 32名 ●ウェルカムパーティー	
	当初予算額	1,255 千円	決算見込額	1,178 千円
	主な経費	国際交流サロン企画運営委員会負担金、日本語学習支援事業実施委託料		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①日本語学習支援ボランティアと協力した日本語学習支援 ②異文化交流イベント・日本の文化を学習するための講座等の開催 ③多言語版生活ガイドの発行			
	当初予算額	5,624 千円	決算見込額	千円
	主な経費	日本語学習支援事業実施委託料700千円、国際交流サロン企画運営委員会負担金420千円ほか		

【八幡】12地域振興

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	八幡地域振興事業	担当課	八幡総合支所
	予算事業名	八幡地域振興事業		
事業概要		八幡・平田連携事業や地域資源活用イベントを実施するとともに、地域おこし協力隊の配置及び活動支援などにより、八幡地域の振興、外部人材等及び鳥海山・やわた地域ジオパークの活用を推進すること。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☒ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	八幡地域協議会、庄内やわた会、地域おこし協力隊
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 八幡地域協議会(負担金)、庄内やわた会(協力)、地域おこし協力隊(酒田市任用職員)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合： 八幡地区住民) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
(1)	八幡・平田連携事業入込数	人	－	3,000	0			
(2)	地域おこし協力隊員が主体となって 取り組む事業数	事業	－	4	2			
(3)								
(4)								
(5)								

【八幡】12地域振興

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	(1) にぎわい創出1,311千円 ①八幡・平田連携事業(隔年合同開催、R5は八幡開催)/八幡・平田地域が連携し地域が有する「食」「自然」などの魅力発信。 ②鳥海山・やわた地域ジオパーク推進事業/八幡地域のジオサイトを中心とした魅力を紹介するツアー実施 ③鳥海山登山教室開催/初心者向け教室 ④玉簾の滝周辺整備助成、湯ノ澤霊泉管理/升田区自治会へ助成、湯ノ澤霊泉水質調査・清掃 (2) 芸術文化の振興451千円 ①八幡文化祭 ②やわた百人一首かるた大会 ③白旗史朗氏展示展等使用写真パネル保管運搬用台車購入 (3) 地域おこし協力隊の配置及び活動支援3,780千円 ①新規隊員の配置(2名) 観音寺地区、日向地区、 ②地域住民並びに地域団体との協働による地域活性化に向けた取り組み、地域情報及びイベントに関する情報発信、地域資源を活用したにぎわい創出 (4) 八幡地域協議会の開催320千円 (5) 庄内やわた会との交流49千円 (6) 日向里かふえ鼠等防除管理業務委託130千円		・八平まつり/地域の食文化体験、地域ワークショップ、物産販売など 実施日・参加人数/R5.10.22(日) 3,000人 ・鳥海山・やわたジオパーク推進事業/「一ノ滝から三ノ滝トレッキング」「紅葉の玉簾と数河の池探訪」「鳥海高原雪原トレッキング」「鳳来山鳥海高原セツгентレッキング」 ※R5.10.21(土)紅葉の鶴間池と秋の恵探し(中止)、実施日・参加人数/R5.9.23(土)16人、R5.11.4(土)9人、R6.1.20(土)24人、R6.2.17(土)23人 ・玉簾の滝周辺整備助成/玉簾の滝周辺の清掃及び除草活動 ・八幡文化祭/展示部門(作品展示)、ステージ部門(発表会)、実施日・参加人数/R5.10.21(土)~22(日)出展者20団体312人、来場者(八平まつりと同時開催のため)3,150人。 R5.11.3(金・祝日)出演者11団体88人、入場者280人(出演者含む) ・やわた百人一首かるた大会/百人一首かるた大会(小学校低・中・高学年の部、一般オープン部の部)、参加人数/出場者59人、入場者130人(出場者含) ・白旗史朗氏/酒田市美術館、土門拳記念館、日本海総合病院ギャラリーでの展示、実施日・参加人数/R5.4.29(土)~6.25(日)3,830人、R5.7.13(木)~9.12(火)5,048人、R5.12.6~R6.1.13人数不明 ・地域住民並びに地域団体との協働による地域活性化に向けた取り組み(協力隊)/運動教室開催、百歳体操協力 ・地域情報及びイベントに関する情報発信/協力隊だよりの発行 ・地域資源を活用したにぎわい創出/地域イベント等への参加依頼	
	当初予算額	6,041 千円	決算	3,316 千円
	主な経費	・にぎわい創出(八幡地域観光物産事業実行委員会負担金621千円、八幡・平田連携事業負担金690千円)・芸術文化、スポーツの振興(文化祭関連38千円、百人一首かるた大会32千円、白旗史朗関係181千円)・地域おこし協力隊1,281千円、地域協議会292千円、庄内やわた会43千円、日向里かふえ鼠等防除管理業務委託130千円		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①にぎわい創出【拡充】内容等を整理して実施することとしたイベントへの負担金等1,355千円 ・八幡・平田連携事業 (R6平田振興事業予算計上) ・鳥海山・飛鳥ジオパークを広くPRし、地域資源を積極的に活用する鳥海登山初心者向け教室等の開催 ・地域の魅力を発信し交流人口の増加を目指し、やわたの夏まつり、鳥海山やわた前ノ川釣り大会を開催 ・玉簾の滝周辺整備にかかる助成 ②芸術文化、スポーツの振興1,882千円 ・やわた文化祭、やわたクラシックコンサート、やわた百人一首かるた大会、八幡体育祭の開催など ③地域おこし協力隊の配置および活動支援3,478千円 ・継続隊員1名(観音寺)、新規隊員1名の配置 ・地域住民並びに地域団体との協働による地域活性化に向けた取り組み ④八幡地域協議会の開催300千円 ⑤庄内やわた会との交流75千円 ⑥日向里かふえ鼠等防除管理業務委託130千円 ⑦「八幡・東村児童交流の翼」国内交流事業実行委員会酒田市負担金2,200千円 【特定財源】八幡地域振興事業入場料 500千円		・八平まつり/令和6年7月25日からの大雨による災害により中止 ・鳥海山・やわたジオパーク推進事業/ ①鳥海高原雪原トレッキング R7.1.18(土) 25人 ②鳳来山・鳥海高原雪原トレッキング R7.2.2(土) 25人 ③一ノ滝から三ノ滝トレッキング R6.9.28(土) ④紅葉の鶴間池と秋の恵探し R6.10.19(土) ⑤紅葉の玉簾の滝と数河の池探訪 R6.11.2(土) ③~⑤は、令和6年7月25日からの大雨による災害により中止 ・玉簾の滝周辺整備助成/玉簾の滝周辺の清掃及び除草活動 ・八幡文化祭/令和6年7月25日からの大雨による災害により中止 ・やわた百人一首かるた大会/百人一首かるた大会(小学校低・中・高学年の部、一般オープン部の部)、参加人数/出場者62人、入場者130人(出場者含) ・白旗史朗氏/日本海総合病院ギャラリーでの展示、実施日・参加人数/R6.12.3~R7.3.4人数不明 ・地域住民並びに地域団体との協働による地域活性化に向けた取り組み(協力隊)/運動教室開催、百歳体操協力 ・地域情報及びイベントに関する情報発信/協力隊だよりの発行 ・地域資源を活用したにぎわい創出/地域イベント等への参加依頼があった際の協力	
	当初予算額	9,420 千円	決算見込額	6,283 千円
	主な経費	やわたクラシックコンサート公演委託料、八幡地域観光物産事業実行委員会負担金、八幡・東村児童交流の翼実行委員会負担金		

【八幡】12地域振興

令和7年度

◆ 予算要求時の具体的な事業内容		◆ 実績	
①にぎわい創出(イベント等への負担金)1,000千円 ・八幡・平田連携事業（R7平田振興事業予算計上） ・鳥海山・飛島ジオパークを広くPRし、地域資源を積極的に活用する八幡地域のジオサイトを中心とした魅力を紹介するツアー実施 ・地域の魅力を発信し交流人口の増加を目指し、やわたの夏まつりを地域内外の方々がつながる復興イベントとして実施 ・玉簾の滝周辺整備にかかる助成 ②芸術文化、スポーツの振興1,881千円 ・やわた文化祭、やわたクラシックコンサート、やわた百人一首かるた大会、八幡体育祭の開催など ③八幡地域協議会の開催320千円 ④庄内やわた会との交流80千円 ⑤日向里かふえ鼠等防除管理業務委託130千円 ⑤「八幡・東村児童交流の翼」国内交流事業実行委員会酒田市負担金2,200千円 【特定財源】八幡地域振興事業入場料 500千円			
当初予算額	5,611 千円	決算見込額	千円
主な経費	八幡・東村児童交流の翼実行委員会負担金2,200千円、やわたクラシックコンサート公演委託料1,200千円、八幡地域観光物産事業実行委員会負担金1,000千円ほか		

【松山】13地域振興

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	松山地域振興事業	担当課	松山総合支所
	予算事業名	松山地域振興事業		
事業概要		交流・観光イベントや地域資源活用事業を実施するとともに、地域おこし協力隊の配置及び活動支援などにより、松山地域の振興、外部人材等の活用を推進すること。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☒ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	松山にぎわい創出実行委員会、松山の宝推進協議会、酒田市芸術文化協会松山支部、地域おこし協力隊、松山地域観光物産事業実行委員会
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 松山にぎわい創出実行委員会(負担金)、松山の宝推進協議会(負担金)、酒田市芸術文化協会松山支部(協力)、地域おこし協力隊(協力)、松山地域観光物産事業実行委員会(負担金※R5は協力)
4 主な受益者	1.全ての市民(特に力を入れている対象がある場合：松山地区住民) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳(3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	まつやま大手門くらふとフェアの入込数	人	4,300	9,200	中止			
(2)	地域おこし協力隊員が主体となって取り組む事業数	事業	2	2	未配置			
(3)								
(4)								
(5)								

【松山】13地域振興

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	(1) にぎわい創出 573千円 ①交流・観光イベント ・城下町松山の魅力を発信し、交流人口の増加を図るため「まつやま大手門くらふとフェア」を開催 ②地域資源活用事業 ・地域の歴史文化を学び、魅力を広くPRするため、「松山の宝茶話会」「甲冑着付け講座」「伝統文化体験事業」などを開催 ③健康増進事業 ・地域住民の健康増進、交流促進、高齢者の引きこもり防止のため「いきいきくらぶ」「健康福祉フェア」を開催 (2) 芸術文化の推進 42千円 ・松山芸術祭を広くPRするため、広報活動を支援 (3) 地域おこし協力隊の配置及び活動支援 1,441千円 ・地域情報及びイベントに関する情報発信、地域資源を活用したにぎわい創出 (4) 松山地域協議会の開催 318千円 (5) 東京松山会との交流 44千円		・観光物産事業 花の城下町まつやま探訪（4/16開催）には150名の入込み、松山絵灯籠展示（8/11～20開催）には500名の入込み、城下町松山秋まつり（11/19開催）には1,500名の入込みがあり、地域の交流人口の増加と松山地域の活性化を図った。 ・まつやま大手門クラフトフェア（9/23、24開催） 第10回目となり、秋のイベントとして定着したことから多くの方々から来場いただき、城下町松山の魅力の発信と交流人口の増加が図られた。2日間とも晴天に恵まれ、コロナ禍による制限をなくして118団体と多くの出展があったことから過去最高の9,200人の来場があった。 ・松山の宝 地域住民に松山の魅力を再認識してもらうとともに、先人の教えを後世に残すことを目的に茶話会を3回（8/11、12/10、2/10）開催し、延べ46名の参加があった。また、3回目の茶話会と合わせて、伝統文化にふれ担い手を育成することを目的とした伝統文化体験事業を開催し、能装束の解説と着付体験を実施（2/10開催）し、15名の参加があった。 ・松山芸術祭 チラシを作成し、松山地域へ全戸配布してPRに協力した。 ・地域おこし協力隊 料理を活用した地域活動に取り組んでいる。SNSや広報誌を通して、地域情報や眺海の森などの情報を発信。	
	当初予算額	2,418 千円	決算	2,093 千円
	主な経費	松山にぎわい創出実行委員会負担金、松山の宝推進協議会負担金		

【松山】13地域振興

令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①にぎわい創出 城下町松山の魅力発信:まつやま大手門くらふとフェア、松山まつり、城下町松山秋まつり、松山絵灯籠展示 歴史文化PR:羽州庄内松山城薪能、花の城下町「まつやま」探訪、松山の宝茶話会、甲冑着付け講座、伝統文化体験事業松山ほたるウィーク 地域住民の健康増進、交流促進:いきいきくらぶ、健康福祉フェア ②芸術文化、スポーツの振興 ・松山芸術祭PRのため広報活動支援、生涯スポーツ振興のため眺海の森ウォーキング ③地域おこし協力隊の配置および活動支援 ・新規隊員1名の配置 ・地域情報およびイベントに関する情報発信および地域資源を活用したにぎわい創出 ④松山地域協議会の開催 ⑤東京松山会との交流 【特定財源】(県) 未来に伝える山形の宝登録制度推進事業費補助金 804千円		・観光物産事業 花の城下町まつやま探訪(4/16開催)と6年振りに屋外で開催した羽州庄内松山城薪能(6/8開催)は天気に恵まれ、それぞれ300名と236名の入込みがあり、多くの来場者でにぎわった。しかし、松山絵灯籠展示と城下町松山秋まつりは、7月25日からの大雨災害の影響により中止とした。 ・まつやま大手門クラフトフェア(9/21,22開催) 警報級の大雨の予報が出ていたため、9/19に中止の判断を行った。当日は大雨により松山地区にレベル4の避難指示が出され避難所を開設するような状況であった。 ・松山の宝 地域住民に松山の魅力を再認識してもらうとともに、先人の教えを後世に残すことを目的に茶話会を4回(6/15、9/28、11/30、2/22)開催し、延べ55名の参加があった。また、4回目の茶話会と合わせて、伝統文化にふれ担い手を育成することを目的とした伝統文化体験事業を開催し、能装束の解説と着付け体験を実施(2/22開催)し、20名の参加があった。 ・松山芸術祭 チラシを作成し、松山地域へ全戸配布してPRに協力した。 ・地域おこし協力隊 新規隊員を募集するも採用にはいたらなかった。	
	当初予算額	6,437 千円	決算見込額	2,664 千円
	主な経費	松山地域観光物産事業実行委員会負担金、松山にぎわい創出実行委員会負担金、松山の宝推進協議会負担金、羽州庄内松山城薪能公演負担金		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①にぎわい創出 城下町松山の魅力発信:まつやま大手門くらふとフェア、松山まつり、城下町松山秋まつり、松山絵灯籠展示 歴史文化PR:花の城下町「まつやま」探訪、松山の宝茶話会、甲冑着付け講座、伝統文化体験事業、松山ほたるウィーク 伝統文化の継承のための支援:羽州庄内松山城薪能、松山藩萩野流砲術隊 地域住民の健康増進、交流促進:いきいきくらぶ、健康福祉フェア ②芸術文化、スポーツの振興 ・松山芸術祭PRのため広報活動支援、生涯スポーツ振興のため眺海の森ウォーキング ③松山地域協議会の開催 ④東京松山会との交流			
	当初予算額	3,305 千円	決算見込額	千円
	主な経費	羽州庄内松山城薪能公演負担金1,100千円、松山地域観光物産事業実行委員会負担金826千円、松山にぎわい創出実行委員会負担金300千円ほか		

【平田】14地域振興

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	平田地域振興事業	担当 課	平田総合支所
	予算事業名	平田地域振興事業		
事業概要		八幡・平田連携事業や地域資源を活用した事業を実施するとともに、地域おこし協力隊の配置及び活動支援などにより、平田地域の振興、外部人材等の活用を推進すること。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☒ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☐ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☒ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☐ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☒ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市
2 関係団体等	ひらた文化祭実行委員会、平田地域観光物産事業実行委員会、地域おこし協力隊、NPO法人
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) 平田自然体験教室(委託料)、ひらた文化祭実行委員会、平田地域観光物産事業実行委員会(負担金)、地域おこし協力隊(活動補助)
4 主な受益者	1.全ての市民(特に力を入れている対象がある場合: 平田地区住民) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳(3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	八幡・平田連携事業入込数	人	—	3,000	0			
(2)	地域おこし協力隊員が主体となって取り組む事業数	事業	6	0	0			
(3)								
(4)								
(5)								

【平田】14地域振興

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	(1) にぎわい創出 497千円 ①八幡・平田連携事業(隔年合同開催、R5は八幡開催) ・八幡・平田地域が連携し地域が有する「食」「自然」などの魅力を発信（八幡・平田で隔年合同開催） ②自然体験教室の開催 ・地域資源を活用し郷土愛の醸成に資する。小学生対象。 (2) 芸術文化、スポーツの振興 760千円 ①平田さしこ教室の開催（初級、中級、上級、各8回）/地域の伝統技術を次世代に継承。 ②ひらた文化祭の開催/地域住民の文化芸術にふれる機会を提供 ③スポーツ教室の開催/地域住民の交流・健康増進とスポーツ人口の拡大を図る (3) 地域おこし協力隊の配置及び活動支援 2,734千円 ①新隊員の配置及び取り組み ・地域情報及びイベントに関する情報発信、地域特有イベントの企画運営による交流人口増 ②前年度任期満了隊員の起業の支援 (4) 平田地域協議会の開催 326千円 (5) 首都圏ふると平田会との交流 56千円		(1) にぎわい創出 3月補正△92千円 ①八幡・平田連携事業(隔年合同開催、R5八幡開催) 実施内容：八幡・平田地域が連携し地域が有する「食」「自然」などの魅力を発信（八幡・平田で隔年合同開催）、実施日：R5.10.22、参加人数：3,000人 ②自然体験教室の開催 実施内容：地域資源を活用し郷土愛の醸成に資するための小学生を対象とした自然体験教室、実施日：R5.6.8～7.7、参加人数：114人 (2) 芸術文化、スポーツの振興 ①平田さしこ教室の開催（初級、中級、上級コース） 実施内容：日本三大刺し子のひとつといわれる庄内刺し子の伝統と技術を継承し、担い手を確保することを目的にさしこ教室を実施、実施日：R5.5.24～9.27の毎月第2・第4水曜日（全8回）、参加人数：初級 13人、中級 11人、上級 7人、計 31人 ②ひらた文化祭の開催 実施内容：各種作品展やステージ発表会により、市民に発表の場を設け、地域の芸術文化への関心を深める、実施日：R5.9.3～12.3、参加人数：2,765人 (3) 地域おこし協力隊の配置及び活動支援 3月補正△2,716千円/R5配置なし ●地域情報及びイベントに関する情報発信 実施内容 管内各コミュニティ振興会主催の文化祭等を平田地域版の広報「ひらたタウンニュース」にて周知、実施日：毎月1日発行（全12回）	
	当初予算額	4,373 千円	決算	1,439 千円
	主な経費	ひらた自然体験教室委託料、平田地域観光物産事業実行委員会負担金		

【平田】14地域振興

	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
令和6年度	①にぎわい創出【拡充】内容等を整理して実施することとしたイベントへの負担金等 ●八幡・平田連携事業 ・地域が有する食・文化などの魅力発信する八平（はっぴー）まつり（八幡・平田隔年合同開催 R6平田開催） ・田沢川ダムなどの地域特有の資源を活用した里山DAY in たざわ、地域団体・企業等の協賛による庄内ひらた目ん玉夏まつり ・地域資源を活用し、郷土愛の醸成に資するため小学生を対象とした自然体験教室 ●芸術文化、スポーツの振興 ・地域の伝統技術を次世代継承するため、平田さしこ教室（初級、中級、上級、各8回） ・地域住民の文化・芸術にふれる機会を提供するため、ひらた文化祭 ・地域住民の交流・健康増進とスポーツ人口の拡大を図るため、スポーツ大会・教室 ②地域おこし協力隊の配置および活動支援 ・新隊員の配置および取組み・地域情報およびイベントに関する情報発信や地域資源を活用した交流事業 ③平田地域協議会開催 ④岐阜県海津市との児童交流開催		（１）にぎわい創出 3月補正△1,734千円 ①八幡・平田連携事業(隔年合同開催) ②里山DAYinたざわ ③庄内ひらた目ん玉夏まつり 上記①②③は、令和6年7月25日からの大雨災害により事業を中止 ④自然体験教室の開催 実施内容：地域資源を活用し郷土愛の醸成に資するための小学生を対象とした自然体験教室、実施日：R6.6.6～8.30、参加人数：133人 （２）芸術文化、スポーツの振興 ①平田さしこ教室の開催（初級、中級、上級コース） 実施内容：日本三大刺し子のひとつといわれる庄内刺し子の伝統と技術を継承し、担い手を確保することを目的にさしこ教室を実施、実施日：R6.5.22～9.25の毎月第2・第4水曜日（全8回）、参加人数：初級 15人、中級 5人、上級 11人、計 31人 ②ひらた文化祭の開催 実施内容：各種作品展やステージ発表会により、市民に発表の場を設け、地域の芸術文化への関心を深める、実施日：R6.9.15～12.1、参加人数：2,375人 （３）地域おこし協力隊の配置及び活動支援 3月補正△1,638千円/R6配置なし	
	当初予算額	6,868 千円	決算見込額	3,048 千円
	主な経費	平田地域観光物産事業実行委員会負担金、八幡・平田連携事業実行委員会負担金、ひらた文化祭実行委員会負担金、平田っ子交流会実行委員会負担金		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容 ①にぎわい創出 ・八幡・平田連携事業 地域が有する食・文化などの魅力発信する八平（はっぴー）まつり（八幡・平田隔年合同開催 R7平田開催） ・田沢川ダムなどの地域特有の資源を活用した里山DAY in たざわ、地域団体・企業等の協賛による庄内ひらた目ん玉夏まつり ・地域資源を活用し、郷土愛の醸成に資するため小学生を対象とした自然体験教室 ②芸術文化、スポーツの振興 ・地域の伝統技術を次世代継承するため、平田さしこ教室（初級、中級、上級、各8回） ・地域住民の文化・芸術にふれる機会を提供するため、ひらた文化祭 ・地域住民の日本の芸能にふれる機会を提供するため、日本の芸能を楽しむ会 ・地域住民の交流・健康増進とスポーツ人口の拡大を図るため、スポーツ大会・教室 ③平田地域協議会開催 ④岐阜県海津市との児童交流開催（平田っ子交流事業）		◆実績	
	当初予算額	5,660 千円	決算見込額	千円
	主な経費	平田っ子交流会実行委員会負担金1,200千円、平田地域観光物産事業実行委員会負担金869千円、八幡・平田連携事業実行委員会負担金690千円ほか		

【学教】15小中一貫

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	演劇ワークショップ	担当課	教育委員会 学校教育課
	予算事業名	小中一貫教育推進事業		
事業概要		小中一貫教育を通して、教員の指導力の向上を図るとともに、本市の教育課題を改善し教育の質を高めることにより、児童生徒の社会の変化に対応できる確かな学力を育成すること。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・・該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☒ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☒ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☒ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	酒田市(教育委員会)
2 関係団体等	R5：市内小学校 R6：市内小中学校
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり(委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) NPO法人PAVLIC(報酬・旅費)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合： 松山地区住民) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 <u>小学生 中学生</u> 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

	単位	実績			目標		
		R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1) 演劇ワークショップの実施校数	校	－	1	4			
(2)							
(3)							
(4)							
(5)							

【学教】15小中一貫

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	演劇ワークショップの実施 ・自律する力、尊重する力、創造する力などの非認知能力の向上を目的とした演劇ワークショップを小学校1校で実施し、実践の資料をまとめ、他の学校での実施を推進する。		・演劇ワークショップ 実施内容 ・小グループでの演劇創作 ・外部講師による指導 実施校ごとの実績(校名、実施日、参加人数) ・実施校 酒田市立亀ヶ崎小学校 6年1組、2組 ・参加人数 計57名 ・実施日 令和5年7月5日(水) 令和5年11月1日(水)	
	当初予算額	538 千円	決算額	538 千円
	主な経費	NPO法人PAVLIC謝金・費用弁償		
令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①演劇ワークショップの実施 ・自律する力、尊重する力、創造する力などの非認知能力の向上を目的とした演劇ワークショップを小学校1校で実施 ・【拡充】令和6年度から中学校(1校)でも実施・実践の資料をまとめ、他の学校での実施を推進 ②各中学校区の合同研修会の実施 ・小中の教職員の対話や協働的な研修を通じて、各中学校区の特色ある教育活動を推進・小中一貫教育コーディネーターを派遣し、各中学校区の取り組みを支援 ③学習ソフトCBTforSchoolの活用 ・学習習慣の定着および自己効力感の向上に有効であるCBTforSchoolを活用 ④「根の力」(※)の指標調査 ・年2回(6月、12月)小学4年生～中学3年生を対象として「根の力」の指標調査を実施し、小中一貫教育の効果を検証 ※根の力・・・酒田市教育大綱に位置付ける「まなびの樹」において根幹となる「学びに向かう力、人間性」		①演劇ワークショップ 実施内容 ・小グループでの演劇創作 ・外部講師による指導 実施校ごとの実績(校名、実施日、参加人数) ・実施校 酒田市立琢成小学校 6年 酒田市立松山小学校 6年 酒田市立第三中学校 1年1～4組 酒田市立第六中学校 1年1～4組 ・参加人数 計266名 ・実施日 各校2日	
	当初予算額	4,149 千円	決算見込額	4,143 千円
	主な経費	演劇ワークショップ実施業務委託料、小中一貫教育推進負担金		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	廃止			
	当初予算額	千円	決算見込額	千円
	主な経費			

【学教】16スポーツ文化

令和5年度～ 酒田市文化芸術推進計画 事業カード

継続 新規	事務事業名	①吹奏楽合同演奏会、②中学校合唱コンクールに向けた各中学校への外部指導者招聘、③小学生観劇教室、④中学校体育連盟大会および中学校文化連盟大会出場支援	担当課	教育委員会 学校教育課
	予算事業名	～R5①②③文化活動重点事業、④中学校大会出場支援事業 R6～スポーツ・文化活動支援事業		
事業概要		①②音楽活動の活性化とその理解及び普及を目指し、豊かな感性を育む教育活動を一層充実し、児童生徒の健やかな成長を図る。 ③「やさしく豊かな心」、「友情と助け合い」、「夢や希望を持って生きることの大切さ」などについて舞台から直接訴えかけることにより道徳・情操教育に寄与するとともに、優れた演劇に触れるきっかけをつくり、明日への活力を生み出し、児童の健やかな成長を図る。④飽海地区中学校体育連盟および飽海地区中学校文化連盟に加入する市内7中学校が生徒を大会に派遣し、費用について補助し、保護者負担の軽減を図るもの。		

【文化芸術推進計画 基本的施策】・ ・ 該当する施策の上位3つまで

- | | |
|--|---|
| ☐ ①文化芸術活動を行う環境の整備 | ☐ ⑪文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化 |
| ☐ ②誰もが文化芸術に親しむことが出来る環境整備 | ☐ ⑫多様な分野との連携及びネットワークづくり |
| ☒ ③学校教育における文化芸術活動の充実 | ☐ ⑬文化財等の地域資源の活用 |
| ☒ ④将来の文化芸術の担い手の育成 | ☐ ⑭酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出 |
| ☐ ⑤文化芸術活動を支える人材の育成 | ☐ ⑮文化施設の活用 |
| ☐ ⑥市民との協働・共創による事業展開 | ☐ ⑯伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信 |
| ☐ ⑦地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり | ☐ ⑰観光との連携 |
| ☐ ⑧文化芸術による国際交流 | ☐ ⑱産業との連携 |
| ☐ ⑨専門性の高い文化の仕掛け人の配置 | ☐ ⑲組織体制の強化 |
| ☐ ⑩文化芸術による社会包摂 | ☐ ⑳市民の視点にたった情報発信・広報戦略 |

■事業の概要

1 事業の実施主体	①②酒田市(教育委員会)、③(財) 舞台芸術センター
2 関係団体等	①②市内中学校 ③市内小学校
3 協働者 (事業実施者)	1.なし(担当課のみ) 2.あり (委託、補助金、負担金、共催、後援、協力等も記載) (財) 舞台芸術センター(負担金)
4 主な受益者	1.全ての市民 (特に力を入れている対象がある場合： 松山地区住民) 2.対象が限定の場合 子ども～18歳 (3歳児未満 3歳児以上 小学生 中学生 高校生) 成人 高齢者(65歳～) 障がい児者 外国人 3.企業 団体 その他 ()

5 事業に対する活動指標

		単位	実績			目標		
			R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)	部活動指導員を配置した部活動数	部	8	13	17			
(2)	③小学生観劇教室実施校数	校	中止	20	20			
(3)	①②実施校数	校	中学校6	中学校7	中学校7			
(4)								
(5)								

【学教】16スポーツ文化

6 事業内容

令和5年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①中学校における吹奏楽合同演奏会の実施 ②外部講師招聘による中学校の合唱活動の充実 ③劇団四季ミュージカル『エルコスの祈り』 ・令和5年10月4日（水） ・酒田市民会館「希望ホール」 ・参加者/鑑賞希望の酒田市立小学校6年生児童 ・バス代は参加児童負担（今年度一人あたり700円までの負担を予定。元年度は582。） ・要保護児童は市費負担、準要保護児童、特別支援学級児童は、就学援助費あるいは特別支援教育就学奨励費として限度額まで支給。 ④中学校体育連盟大会および中学校文化連盟大会出場支援 ・飽海地区中学校体育連盟および飽海地区中学校文化連盟に加入する市内7中学校が生徒を大会に派遣する費用について補助し、保護者負担の軽減を図るもの。 （1）中学校体育連盟大会出場補助金 ①中学校駅伝競走大会、②中学校総合体育大会、③中学校新人総合体育大会、④中学校スキー大会 （2）中学校文化連盟大会出場補助金 ①全日本吹奏楽コンクール山形県大会、②全日本吹奏楽コンクール東北大会、③全日本アンサンブルコンテスト東北大会、④全日本合唱コンクール東北大会		①中学校における吹奏楽合同演奏会の実施 ・各校吹奏楽部による演奏発表 ・外部講師による講評、指導 ・外部指導者指揮による合同演奏 ・参加校 市内全7中学校 ・実施日 令和5年9月17日 ・参加人数 200名程度 ②外部講師招聘による中学校の合唱活動の充実 ・外部講師による各校での合唱指導及び合唱コンクール当日の審査、講評 ・実施校 市内6中学校（東部中を除く） ・実施日 各校の計画による ・参加人数 各学校全学級を対象に指導（全生徒） ③劇団四季ミュージカル『エルコスの祈り』 ・令和5年10月4日 ・参加校 市内20小学校（鳥海小を除く） ・参加人数 6年生児童 634人 ・1人あたり 336円の負担 ④中学校体育連盟大会および中学校文化連盟大会出場支援 3月補正▲3,032千円 （1）中学校体育連盟大会出場補助金 ・補助校 7校 （2）中学校文化連盟大会出場補助金 ・補助校 4校	
	当初予算額	5,540 千円	決算額	2,280 千円
	主な経費	・外部講師謝金137千円・会場使用料163千円・楽器運搬車借上料25千円、中学生大会派遣奨励補助金1,926千円		

【学教】16スポーツ文化

令和6年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①部活動指導員の配置 ②小学校授業への陸上サポーターの派遣 ③吹奏楽合同演奏会の実施 ④中学校合唱コンクールに向けた各中学校への外部指導者招聘 ⑤小学生観劇教室の実施/こころの劇場（劇団四季）負担金 ⑥中学校体育連盟大会および中学校文化連盟大会出場への支援 【特定財源】（国）部活動指導員配置促進事業費補助金 1,568千円、小学校観劇教室負担金 415千円		①部活動指導員の配置 ・市内7中学校17部活に部活動指導員17人を配置（内運動部16、文化部1） ②小学校授業への陸上サポーターの派遣 ・市内20小学校に派遣（1校あたり1回3時間） ③中学校における吹奏楽合同演奏会の実施 ・各校吹奏楽部による演奏発表、・外部講師による講評、指導 ・参加校 市内全7中学校 ・実施日 令和6年9月15日 ・参加人数 200名程度 ④外部講師招聘による中学校の合唱活動の充実 ・外部講師による各校での合唱指導及び合唱コンクール当日の審査、講評 ・実施校 市内6中学校（東部中を除く） ・実施日 各校の計画による ・参加人数 各学校全学級を対象に指導（全生徒） ③劇団四季ミュージカル『エルコスの祈り』 ・令和6年7月4日 ・参加校 市内20小学校（琢成小を除く） ・参加人数 6年生児童 642人 ・1人あたり 606円の負担 ④中学校体育連盟大会および中学校文化連盟大会出場支援	
	当初予算額	8,488 千円	決算見込額	5,991 千円
	主な経費	小学生観劇教室開催負担金415千円、中学生大会派遣奨励補助金4,711千円ほか		
令和7年度	◆予算要求時の具体的な事業内容		◆実績	
	①部活動指導員の配置 ②小学校授業への陸上サポーターの派遣 ③吹奏楽合同演奏会の実施 ④中学校合唱コンクールに向けた各中学校への外部指導者招聘 ⑤小学生観劇教室の実施/こころの劇場（劇団四季）負担金 ⑥中学校体育連盟大会および中学校文化連盟大会出場への支援 【特定財源】（国）部活動指導員配置促進事業費補助金 1,864千円、小学校観劇教室負担金 609千円			
	当初予算額	10,356 千円	決算見込額	千円
	主な経費	中学生大会派遣奨励補助金4,711千円、小学生観劇教室開催負担金609千円ほか		